

長岡周辺地域の 温泉資源の現状分析 と情報発信

平成27年度
学生による地域活性化プログラム

山川智子ゼミナール活動報告書



ごあいさつ



経済経営学部長 村山 光博

長岡大学の「学生による地域活性化プログラム」は、平成 19 年度に文部科学省の現代的教育ニーズ取組支援プログラムに採択された「学生による地域活性化提案プログラム 一政策対応型専門人材の育成」に始まり、今年度で丸 9 年となります。次年度はいよいよ 10 年目ということになるわけですが、この教育プログラムの成果が実際に地域活性化に貢献できているのかについて、これまでを振り返りながら今後の取り組みへの方向性を確認する時期に来ているとも言えます。

直接的に目に見える貢献とまでは行きませんが、始めたばかりの 9 年前と比較すると周辺地域における「学生による地域活性化プログラム」の認知度は明らかに高まっていると感じます。これまで本プログラムの運営において積極的にご支援をいただいていた地域連携アドバイザーの皆様だけでなく、初めてお会いする地域の方々からも本プログラムの個々の取り組みテーマに対するお問い合わせや称賛の声などをいただくことが増えてきております。また、テーマによっては学生の取り組みに関して新聞やテレビなどのメディアでも大きく取り上げていただくことが多くなりました。

長岡大学の建学の精神は、

- ・幅広い職業人としての人づくりと実学実践教育の推進
- ・地域社会に貢献し得る人材の育成

です。「学生による地域活性化プログラム」は、まさにこの精神を実現するための本学の重要な教育プログラムであると言えます。

「地域活性化とは何か」という問いに対する明確な答えは無いと思いますが、そのような答えの無い課題に対して、どのように考え、どのように行動して行くのかを学生が自ら試行錯誤しながら体得していくことができます。これは大学を卒業して地域社会の一員となる学生たちが、将来、それぞれの地域が抱える課題を乗り越えていかなければならないことを考えると、彼らにとって貴重な体験となるに違いありません。

本プログラムでは、ゼミナールという単位で 1 つのテーマを取り上げ、ゼミに所属する複数名の学生がグループで活動を進めて行くこととなりますが、時には学生同士での意見の食い違いや、ちょっとしたすれ違いなどが起こることもあります。このような体験も学生がさらに一段成長する要素となります。ゼミで決めた研究テーマをまとめ上げるために、どのように他の学生とかわりながら取り組みを進めて行くべきなのか、この取り組みの中で自分の果たすべき役割は何であるのか、などを考えながら活動を行っていくことで、チームで活動することの難しさだけでなく、チームでやり遂げたことの充実感や達成感を味わうことができます。

「学生による地域活性化プログラム」では、学生が地域の皆様と一緒に考え、汗をかき、そして楽しむことで、当面の地域貢献だけでなく将来にわたって地域の活性化を担っていける人材の育成を目指しております。

地域の皆様には日頃より、本プログラムへの多大なるご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

平成 28 年 3 月

はじめに

長岡周辺地域の温泉資源の現状分析と情報発信



長岡大学教授／ゼミ担当教員 山川 智子

「何故、長岡の温泉はしょっぱいのか？」2008年4月に長岡大学に着任して以来、何となく気になっていたことです。単純に泉質で塩化物泉が多いからですが、それだけでなくせつかくいい温泉などがたくさんあるのに、それらの魅力が十分に周囲に伝わっているのかしら？とかねてから疑問に思っていました。これが調査活動の最大の動機と言えます。

今年度の山川ゼミは人数も少なかったので、当初はゼミ学生たちと一緒に周辺の日帰り温泉に行き、いいお風呂に漬かっておいしいごはんを食べてのんびりやろう…と思っていました。ゼミ学生たちもそれぞれに温泉が大好きだったので、すぐに意気投合しました。

それが、故・内藤敏樹学長のすすめもあって、年度の途中から地域活性化ゼミに新たに参加することになりました。自分たちで楽しんでやっていたことが、そのまま立派に調査・研究活動になってしまった、という点では当ゼミは極めてユニークな存在だと言えます。

ゼミ紹介のパネルにもあるように、「長岡の温泉をもっとよく知りたい！温泉に入って地域の良さを満喫しよう！」という当ゼミのコンセプトはシンプル極まりないものです。だからこそ、ストレートに伝わるのが強みです。ゼミ学生たちと各施設を訪問し、改めて長岡市や周辺地域にある温泉・入浴施設の魅力を「地域の宝」として実感できました。

確かに、地域活性化発表会でもご指摘を受けたように、単に湯巡りの域を出ていない、といったご意見があるのはもったいなことだと思います。ゼミ学生たちばかりではなく、担当である私もまだ不慣れな点が多く、今思い返すとああすれば良かった、こうすれば良かったと、毎日が後悔と反省の連続でした。地域活性化ゼミの実質的な活動期間は、他のゼミの半分にも満たず、きちんと年間計画を練ったり、段取りを踏んだりも覚束ないまま学生ともども必死に突っ走って来てしまったというのが、嘘偽らざる実態です。

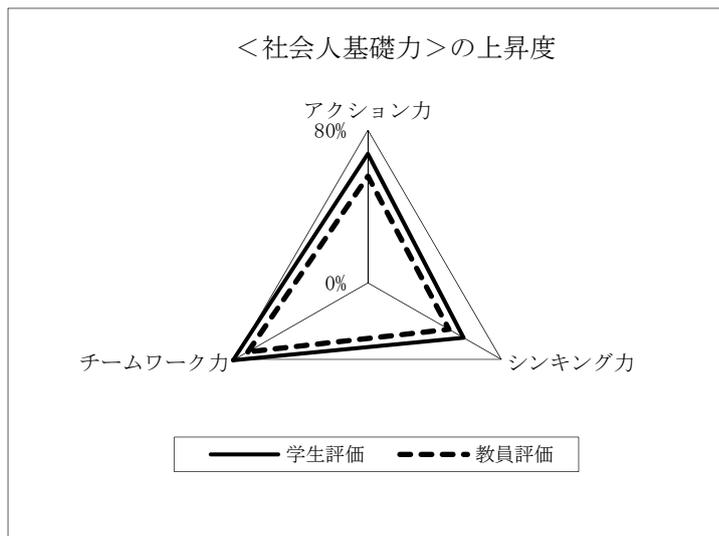
しかし、本活動を通じて、多くのゼミ学生は社会人として必要とされる主体性・実行力、課題発見力・計画力・創造力、発信力・傾聴力・把握力を、飛躍的に伸ばせたと思います。ただの湯巡りで楽しんでいただけなら、こんな苦労はしなくて済んで良かったのに…と、ゼミ学生たちが思ったことも一度や二度ではないはずです。自分たちで実際に足を運び、見て聞いて味わって感じて得たものや気づいたことを形としてまとめる、といった地道で手間のかかる作業を繰り返すことで、彼らも少しずつ成長してゆけたのだと思います。

最後に、地域活性化のアドバイザーとしてご協力いただきました寺宝温泉 青柳良一様、えちご川口温泉 小林説人様、それにヒアリングにご協力いただいた金内智子様、小林和彦様、奥山錦一様、丸山翔平様からの多大なお力添えに心から感謝申し上げます。各施設でお世話になったみなさまにも、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

平成28年3月

平成 27 年度 学生による地域活性化プログラム 社会人基礎力の上昇度

地域活性化プログラムにおける学生教育の目標は、社会人基礎力の向上、ビジネス展開能力の向上、専門的スキルの向上が目的である。平成 27 年度学生による地域活性化プログラムに参加した 9 取組の学生の「社会人基礎力」の伸び具合について、学生とゼミ担当教員にアンケートを実施した。アンケートは取組に参加した学生一人一人を対象に、社会人基礎力の変化を評価する形で実施した。学生は自己評価（有効回収 68）であり、教員は各ゼミ生についての評価である。

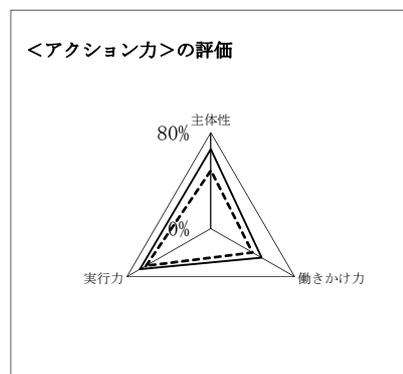


★「社会人基礎力」

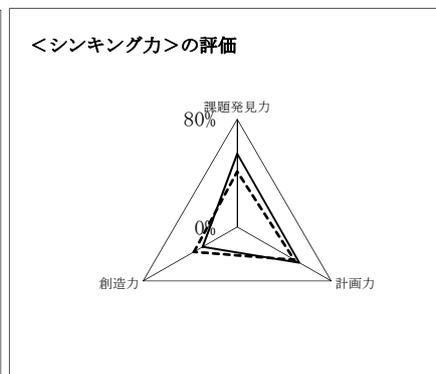
＝「アクション力」「シンキング力」「チームワーク力」が上昇

3つの社会人基礎力の上昇度（取組前と取組後の比較）は、学生の自己評価と教員評価の間にずれがある。今後の取組においては、今年度の結果に現れている学生評価と教員評価の差を小さくすると同時に全体的な上昇度を高めていくことに対して、継続的に検討していく必要がある。

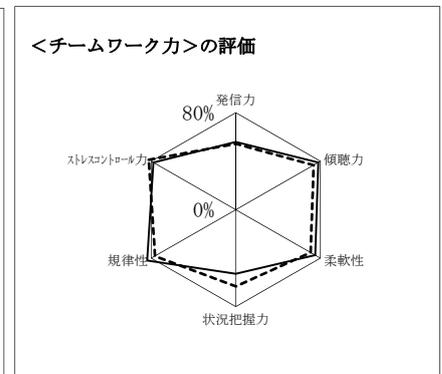
	学生評価	教員評価
アクション力	67.6%	55.9%
シンキング力	57.4%	48.5%
チームワーク力	80.9%	72.1%



	学生評価	教員評価
主体性	66.2%	48.5%
働きかけ力	48.5%	39.7%
実行力	67.6%	61.8%



	学生評価	教員評価
課題発見力	54.4%	41.2%
計画力	52.9%	48.5%
創造力	29.4%	36.8%



	学生評価	教員評価
発信力	55.9%	54.4%
傾聴力	77.9%	73.5%
柔軟性	75.0%	70.6%
状況把握力	52.9%	63.2%
規律性	83.8%	76.5%
ストレスコントロール力	77.9%	82.4%

＜アクション力＞

アクション力の3つの指標を比較すると、主体的には取り組めたと思っている学生の割合は高いが、教員の評価は低くなっている。

学生はそれなりに積極的に活動を行っていると感じている一方で、教員としては、まだまだ自主性が足りないと感じているようである。

＜シンキング力＞

学生の自己評価では、課題は見つけられたが、自分で計画して課題に立ち向かい、課題解決ができた学生は少なく、また創造力が極端に低くなっている。また、教員評価でも創造力については厳しいものになっている。昨年同様、シンキング力が弱い傾向があり、この点をどのようにして伸ばしていくかが課題として残った形である。

＜チームワーク力＞

チームワーク力は、「アクション力」や「シンキング力」よりも学生評価と教員評価の類似性が高い。

学生の自己評価も同様であるが、教員の評価が発信力と状況把握力が低い点は、今後指導を強めていく必要がある。



平成27年度 学生による地域活性化プログラム
長岡周辺地域の温泉資源の
現状分析と情報発信

■担当教員
山川智子

■ゼミ学生
4年生：釣巻貴弥、井口美咲
3年生：丸山貴樹、中沢裕太

■アドバイザー：青柳良一氏(寺宝温泉 館長)
小林説人氏(えちご川口温泉ホテルサンローラ副支配人)

取り組みの目的と狙い「長岡の温泉をもっとよく知りたい！ 温泉に入って地域の良さを満喫しよう！」

長岡周辺地域には、数多くの温泉・入浴施設がある。温泉・入浴施設は、温浴や湯治などの健康への効果だけでなく、地域の大切な交流の場であり、重要な観光資源としての側面も併せ持っている。

長岡市及びその周辺地域にある温泉・入浴施設が、その地域においてどのような役割を担っているのかを実地調査することで、それぞれの強みや魅力をより深く掘り起こし情報発信することを目指している。

今年度の主な活動内容(9月より参加)

- ①長岡周辺地域にある日帰り温泉や入浴施設に行き実地調査する。(ゼミ合宿2回含む)
- ②調査した各施設の特色や気づきをまとめる。
- ③ヒアリングを実施し(6施設)、理解を深める。
- ④長岡大学において、学生アンケートを行う。
- ⑤実地調査やヒアリング内容をもとに発表や報告書として、学生の視点から長岡市や周辺地域の温泉や入浴施設の現状の情報発信を行う。

今年度の活動において取り上げた主な内容

- ・長岡市及び周辺地域の温泉施設の概要
- ・長岡の温泉施設の主な泉質や温泉・入浴施設の利用料金と営業時間
- ・温泉や入浴施設を取り巻くさまざまな問題
- ・長岡大学の学生のアンケート結果から見えてきた学生と日帰り温泉・入浴施設との関わりかた。
- ・温泉・入浴施設の食事やサービスの比較
- ・長岡市内の温泉・入浴施設の活性化への提案

施設紹介パネルで取り上げた温泉・入浴施設

寺宝温泉、えちご川口温泉、蓬平温泉 和泉屋、花みずき温泉 喜芳、麻生の湯、桂温泉、太古の湯、アクアレー長岡、灰下の湯 東栄館、志保の里荘、おいらこの湯、長岡かまぶろ温泉、秋葉温泉 花水、ソルト・スパ潮風、いい湯らてい、松之山温泉 ひなの宿ちとせ、かわら亭、竜神の館、あまやち会館、養楽館 延命の湯、エコトピア寿、越後長岡ゆらいや など全22施設



長岡周辺地域の温泉資源の現状分析と情報発信

山川智子ゼミナール

12E021	釣巻 貴弥	12E002	井口 美咲
13E022	丸山 貴樹	13E019	中沢 裕太

目 次

1. はじめに (釣巻 貴弥).....	1
1-1-1 温泉・入浴施設を調査活動とした背景	
1-1-2 調査期間と入浴料金の検討	
1-1-3 調査の対象となる温泉・入浴施設	
1-2 新潟県の観光客の調査と長岡市の温泉・入浴施設の概要.....	3
1-2-1 新潟県の観光客の満足度とリピーター率	
1-2-2 長岡市内各地域の温泉・入浴施設の概要	
1-2-3 各施設へのアクセス方法について	
2. 長岡市及び周辺地域の温泉施設の特徴 (釣巻 貴弥).....	6
2-1 長岡の温泉施設の主な泉質.....	6
2-2 長岡周辺地域の利用料金と営業時間について.....	7
2-2-1 長岡周辺地域の温泉・入浴施設の料金相場は新潟県の中では少し高い？	
2-2-2 地価と入浴料金との関係性と地域からの補助金の有無	
2-2-3 長岡の温泉・入浴施設の利用料金と営業時間	
3. 長岡市及び周辺地域の温泉や入浴施設を取り巻くさまざまな問題について (釣巻 貴弥).....	9
3-1 温泉施設の初期投資や維持するための経営上の問題.....	9
3-2 公共性を損なう利用者側のマナーの問題.....	10
3-3 入れ墨やタトゥーの問題について.....	10
4. 他の地域の温泉の興味深い取り組み例の紹介 (釣巻 貴弥).....	12
4-1 取り組み例その1 岐阜県「下呂温泉」の湯めぐり手形と下呂温泉マップ.....	12
4-2 取り組み例その2 阿賀町「七福荘」の冷たい温泉「冷泉風呂」.....	12
4-3 取り組み例その3 大分県「由布院」.....	13
5. 長岡の温泉・入浴施設を取り巻く環境の現状と考察 (釣巻 貴弥).....	14
5-1 ヒアリングの実施.....	14
5-2 利用者の年代層から見る各施設の特徴.....	14
5-2-1 事例1 寺宝温泉	
5-2-2 事例2 えちご川口温泉	
5-2-3 事例3 喜芳	
5-3 ターゲティングによる経営の戦略と長岡市の今後.....	15
6. 長岡市内の温泉施設へのヒアリング.....	15
6-1 寺宝温泉 ヒアリング概要 (釣巻 貴弥).....	16
6-1-1 寺宝温泉の概要とヒアリングの目的	
6-1-2 ヒアリング内容【質疑応答内容】	
6-1-3 【ヒアリングからの考察】新規の利用者を獲得するためには	
6-2 えちご川口温泉 ホテル・サンローラ ヒアリング概要 (井口 美咲).....	18
6-2-1 えちご川口温泉とホテル・サンローラの概要とヒアリングの目的	
6-2-2 ヒアリング内容【質疑応答内容】	
6-2-3 【ヒアリングからの考察】近年の温泉業界の現状と経営方針について	
6-2-4 ホテル・サンローラに宿泊して気づいた感想と今後の経営戦略への提案	

6-3	よもぎひら温泉 和泉屋 ヒアリング概要 (釣巻 貴弥).....	21
6-3-1	よもぎひら温泉 和泉屋の概要とヒアリングの目的	
6-3-2	ヒアリング内容【質疑応答内容】	
6-3-3	【ヒアリング後の考察】 サービス業において重要なこと	
6-4	喜芳 ヒアリング概要 (井口 美咲).....	23
6-4-1	「喜芳」の概要とヒアリングの目的	
6-4-2	ヒアリング内容【質疑応答内容】	
6-4-3	【ヒアリングからの考察】 地域密着型で女性のニーズに合わせたこだわり	
6-5	麻生の湯 ヒアリング概要 (井口 美咲).....	26
6-5-1	麻生の湯の概要とヒアリングの目的	
6-5-2	ヒアリング内容【質疑応答内容】	
6-5-3	【ヒアリングからの考察】 今後の麻生の湯の経営戦略への提言など	
6-6	桂温泉 ヒアリング概要 (釣巻 貴弥).....	29
6-6-1	桂温泉の概要とヒアリングの目的	
6-6-2	ヒアリング内容【質疑応答内容】	
6-6-3	【ヒアリングからの考察】 桂温泉の果たす役割と独自の宣伝効果	
7.	長岡大学の学生と日帰り温泉の利用状況についてのアンケート調査 (丸山 貴樹).....	32
7-1-1	アンケート調査の目的	
7-1-2	アンケート調査の方法・対象・実施日	
7-2	アンケート項目への回答結果.....	32
7-3	学生アンケートからの考察.....	37
8.	長岡市内の温泉・入浴施設の食事やサービスの比較 (井口 美咲).....	38
8-1	長岡の温泉・入浴施設の食事やサービスを調査したきっかけ.....	38
8-2	「麻生の湯」と「ゆらいや」の食事やサービスの比較検討.....	38
8-2-1	「麻生の湯」と「ゆらいや」の食事メニュー比較	
8-2-2	「麻生の湯」と「ゆらいや」その他のサービス比較	
8-3	「えちご川口温泉 ホテル・サンローラ」と「喜芳」の会食プラン比較.....	39
8-4	長岡市内の温泉・入浴施設の活性化のための提案.....	41
8-5	地域活性化のために必要な協力体制.....	41
9.	おわりに～長岡市及び周辺地域を取り巻く温泉・入浴施設の情報発信 (釣巻 貴弥).....	42
10.	温泉・入浴施設のパネル紹介	
10-01	寺室温泉 (釣巻 貴弥)	
10-02	えちご川口温泉 ホテル・サンローラ (井口 美咲)	
10-03	よもぎひら温泉 和泉屋 (丸山 貴樹)	
10-04	喜芳 (丸山 貴樹)	
10-05	麻生の湯 (井口 美咲)	
10-06	桂温泉 (井口 美咲) (井口 美咲)	
10-07	太古の湯 (丸山 貴樹)	
10-08	アクアーレ長岡 (釣巻 貴弥)	
10-09	灰下の湯 東栄館 (釣巻 貴弥)	

- 10-10 志保の里荘 (釣巻 貴弥)
- 10-11 おいらこの湯 (丸山 貴樹)
- 10-12 長岡かまぶろ温泉 (釣巻 貴弥)
- 10-13 秋葉温泉 花水 (丸山 貴樹)
- 10-14 ソルト・スパ潮風 (丸山 貴樹)
- 10-15 いい湯らてい (井口 美咲)
- 10-16 松之山温泉 ひなの宿ちとせ (井口 美咲)
- 10-17 かわら亭 (釣巻 貴弥)
- 10-18 竜神の館 (中沢 裕太)
- 10-19 あまやち会館 (井口 美咲)
- 10-20 養楽館 延命の湯 (中沢 裕太)
- 10-21 エコトピア寿 (中沢 裕太)
- 10-22 越後長岡ゆらいや (中沢 裕太)

参考文献・謝辞

長岡周辺地域の温泉資源の現状分析と情報発信

1-1. はじめに

1-1-1 温泉・入浴施設を調査活動とした背景

長岡周辺地域には温泉・入浴施設が数多くある。温浴や湯治などの健康への効果だけでなく、地域の交流の場でもあり、観光資源としての側面も持つ。しかし、良い温泉があるのにも関わらず、それほど観光資源として目立っていないのはどうしてなのか？と思う。

そこで、長岡市内や周辺地域にある日帰り温泉・入浴施設へ、実際に自分たちで行ってサービスを体験し、利用者目線から、施設の現状を調査することにした。地域の宝として誇れる観光資源になりうるものをこのままにしておくのは宝の持ち腐れである。

今年度のゼミ活動では「長岡周辺地域の温泉・入浴施設の現状の把握」を目的に掲げた。各施設を実際に訪れて、施設の特徴（強みや弱み）、認知度や交通アクセス、ホームページやパンフレットなどの宣伝や情報発信をどのようにしているかを調べることになった。

なお、文章の中の温泉施設は天然の温泉を指し、入浴施設は「温泉ではない」スーパー銭湯などの入浴施設を表している。

1-1-2 調査期間と入浴料金の検討

2015年の4月頃から各施設の調査を始め、2016年1月上旬まで行った。対象となる施設は、日帰り入浴（立ち寄り湯）を行っていて、なおかつ価格も学生が出せる限度額のおよそ1,000円までの施設に絞った。1,000円としたのは、長岡大学で一人暮らしをしている学生が家賃以外で1カ月に自由に使える生活費の平均が約5万円だからである。ゼミのメンバーで、そこから生活に支障がでない支出額を検討して、1,000円が妥当となった。

1-1-3 調査の対象となる温泉・入浴施設

調査した施設は長岡周辺地域及び新潟県内の全部で22カ所である。2015年10月からは、3年生と4年生に分かれ施設を巡った。長岡市内の温泉・入浴施設が16カ所である。長岡市外は、柏崎市1カ所、三条市1カ所、新潟市秋葉区1カ所、妙高市1カ所、十日町市1カ所、津南町1カ所である。各自が調査を行った施設を次ページの表にまとめた。

また、筆者である釣巻が個別に調査した新潟県阿賀町の「七福荘」、岐阜県の下呂温泉、大分県の由布院についても後述する。長岡市以外の施設も調査したのは、長岡周辺地域の施設と利用者の年代層や料金などと比較するためである。

さらに、調査した施設のうち、寺宝温泉、えちご川口温泉、よもぎひら温泉 和泉屋、喜芳、麻生の湯、桂温泉の6カ所の施設からヒアリング調査の協力を得ることができた。

表1 ゼミ学生が共同または各自で調査活動を行った施設一覧表

	施設名称	施設所在地	調査時期	施設調査に参加した学生
1	えちご川口温泉	長岡市川口	2015年5月	釣巻、井口、丸山、中沢
2	ソルト・スパ潮風	柏崎市	2015年6月	釣巻、井口、丸山、中沢
3	桂温泉	長岡市	2015年7月	釣巻、井口、丸山、中沢
4	喜芳	長岡市三島	2015年7月	釣巻、井口、中沢、丸山
5	灰下の湯 東栄館	長岡市	2015年10月	釣巻、井口
6	寺宝温泉	長岡市	2015年10月	丸山、中沢
7	いい湯らてい	三条市	2015年10月	釣巻、井口
8	ゆらいや	長岡市	2015年10月	丸山、中沢
9	長岡かまぶろ温泉	長岡市	2015年10月	釣巻、井口
10	太古の湯	長岡市寺泊	2015年10月	丸山、中沢
11	麻生の湯	長岡市	2015年10月	釣巻、井口、丸山、中沢
12	アクアレー長岡	長岡市	2015年10月	釣巻、井口
13	養楽館 延命の湯	長岡市小国	2015年11月	中沢、丸山
14	志保の里荘	長岡市与板	2015年11月	釣巻、井口
15	よもぎひら温泉 和泉屋	長岡市	2015年11月	釣巻、井口
16	エコトピア寿	長岡市	2015年11月	丸山、中沢
17	おいらこの湯	長岡市栃尾	2015年12月	丸山
18	あまやち会館	長岡市山古志	2015年12月	井口

表2 ゼミ学生が独自に調査活動を行った施設一覧

	施設名称	施設所在地	調査時期	調査した学生
1	かわら亭	妙高市	2015年5月	釣巻
2	松之山温泉 ひなの宿ちとせ	十日町市	2015年5月	井口
3	花水	新潟市秋葉区	2015年8月	丸山
4	竜神の館	津南町	2015年8月	中沢

表3 長岡市以外の温泉施設の基本料金・泉質名・営業時間

施設名	料金	泉質名	営業時間
花水（新潟市秋葉区）	950円	ナトリウム塩化物強泉	9:30～21:30
いい湯らてい（三条市）	850円	ナトリウム硫酸塩泉	10:00～22:00
かわら亭（妙高市）	800円	泉質名なし	9:30～21:30
ソルト・スパ潮風（柏崎市）	780円	ナトリウム塩化物強泉	10:00～22:00
ひなの宿ちとせ（十日町市）	700円	ナトリウム塩化物泉	10:00～15:00
竜神の館（津南町）	500円	ナトリウム塩化物泉	10:00～21:00

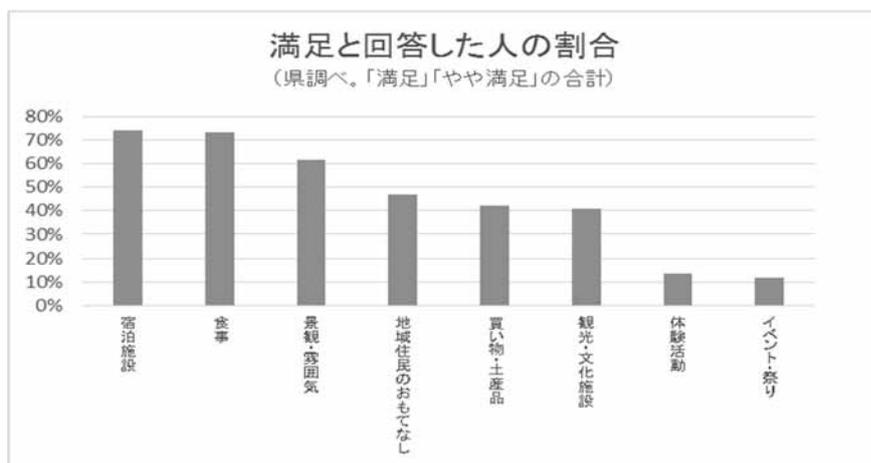
1-2. 新潟県の観光客の調査と長岡市の温泉・入浴施設の概要

1-2-1 新潟県の観光客の満足度とリピーター率

新潟日報（2015年5月13日）によると、新潟県が2013年10月から2014年の9月に行った新潟の観光地を訪れた観光客を対象に行った調査結果では、満足度は前年度とあまり変わらず、ほぼ横ばいの8割強であった。満足した項目については、宿泊施設や食事、景観や雰囲気などで、イベントや祭り・農業体験は意外と低い結果となった。

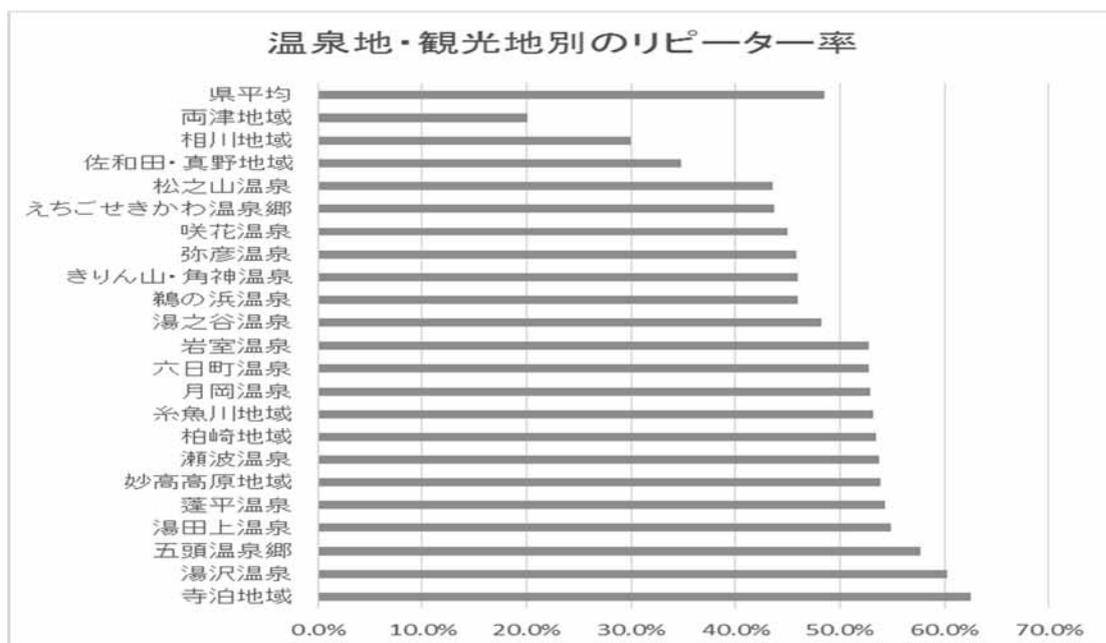
リピーター率は、県平均48.5%で前回よりも0.9ポイント上昇した。地域別では、寺泊地域と越後湯沢温泉の他に五頭温泉郷などが前回の調査よりもポイントが高くなっている。

アンケートに協力した観光客がどこから来たのかを尋ねたところ、関東からが4割程度で、前回の調査よりも少しポイントが下がった。次いで新潟県内が3割と前回調査とほぼ同じである。自由記述欄には「浴場の清掃や温度管理には注意してほしい」「施設のバリアフリー化を望む」といった意見が寄せられていた。



(左) グラフ 1
観光客の満足度
(下) グラフ 2
リピーター率

*両方とも「新潟日報
2015年5月13日版
『「満足」横ばい
86.6%』を引用した。

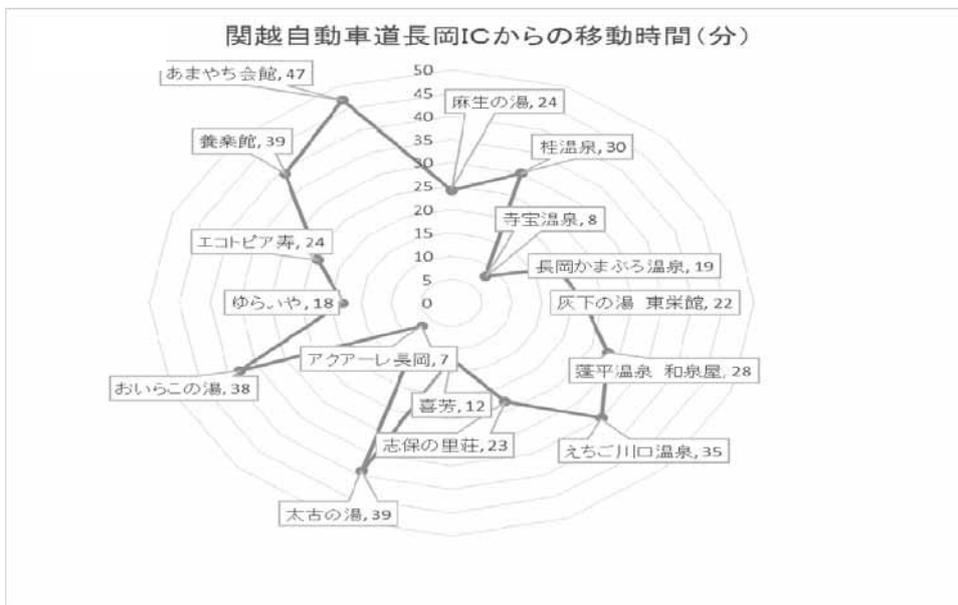


1-2-3 各施設へのアクセス方法について

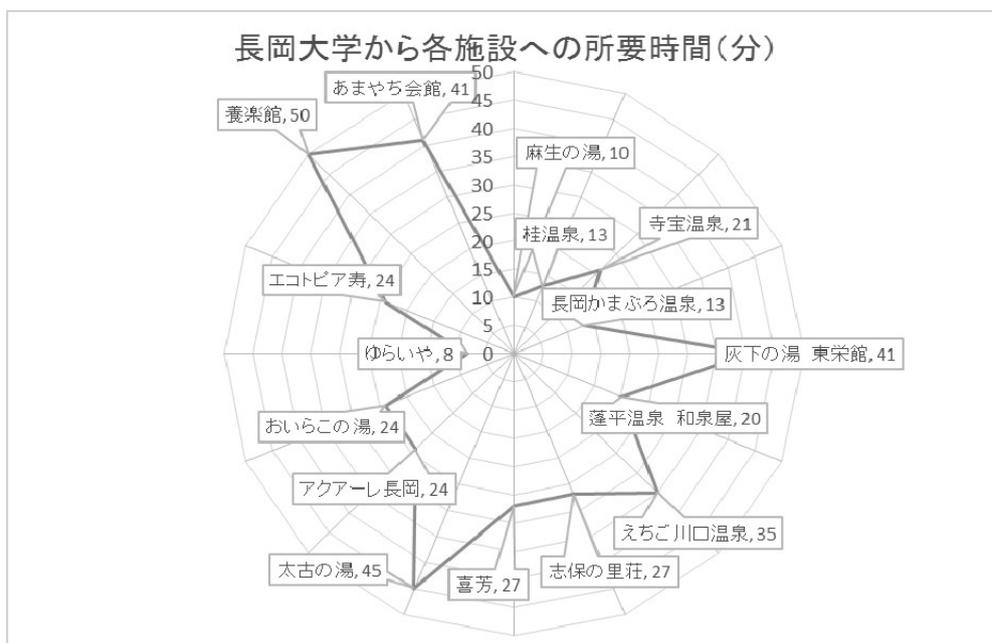
長岡は大きく 11 のエリアに分かれている。各施設への主な交通手段は、自家用車や越後交通などの路線バスを利用する方法、そして施設からの送迎バスが挙げられる。しかし、バスは 1 時間に 1 本のように本数自体が少なく、送迎バスは「10 名以上での予約」など人数や運行条件に制約があるところも多い。自家用車が温泉や入浴施設へ行くには最適な交通手段であろう。

自家用車でのアクセスは、長岡市外や新潟県外から来る場合は、主に関越自動車道長岡 IC などからの走行キロ数や運転時間で示されている。多くの施設が長岡 IC や小千谷 IC などの主要なインターチェンジから 10～30 分でアクセスすることが可能である。

今回の調査では長岡大学を起点に各施設へ行っていたが、大学からでもアクセス時間は大幅には変わらず、「養楽館 延命の湯」が 50 分と最も遠く、「越後長岡ゆらいや」は 8 分と最も近かった。なお、アクセス時間は時速 60 km が基準で、渋滞は考慮していない。



(上段)
グラフ 3
長岡 IC から各施設へ車の移動時間
*小千谷 IC からのほうが近いケースもあり。



(下段)
グラフ 4
長岡大学から各施設へ車の所要時間

2. 長岡市及び周辺地域の温泉施設の特徴

2-1 長岡の温泉施設の主な泉質

長岡周辺地域の温泉の泉質では、ナトリウム塩化物泉と単純温泉の2種類の泉質がよく見受けられる。塩化物泉は塩分が水中に多く含まれており、湯冷めしにくのが特徴である。単純温泉は塩化物などの含有成分が比較的薄く刺激が少ないのが特徴である。泉質名なしと言ってもさまざまな化学成分が含まれている。同じような泉質名でも温泉によって随分お湯の印象が異なる場合も多い。

「いきなり刺激の強い温泉に入ると、身体に大きな負担がかかってしまう。本来疲れを取り、リラックスをするための入浴で逆に疲れてしまうことがある。」これは、温泉の泉質に詳しい、えちご川口温泉の温泉ソムリエ小林説人さんに伺った話である。単純温泉など刺激の弱い温泉に先に入って、慣れてきたら刺激の強い温泉に入ることを強く勧められた。

筆者もナトリウム塩化物泉に入浴した際、湯冷めはせず体はポカポカしているのだが、強い疲労感が後からどっと出てきた経験がある。身体が弱い人や高齢者は特に自分の身体の状態も考えながら、なるべく薄めの温泉から入った方がいいのだろう。不思議なことに人には合う温泉と合わない温泉があるという。これは、ヒアリングで伺った際に寺宝温泉の青柳良一さんもおっしゃっていたことでもある。自分の身体や体質に、その温泉が合うのか合わないのかは、実際に一度入ってみないとわからない。自分に合った温泉を探しに、長岡の温泉・入浴施設を巡るのも楽しいのではないだろうか。

表4 主な泉質一覧と長岡市内の温泉の事例

単純温泉 例) 喜芳、長岡かまぶろ温泉	肌に対する刺激が少なく体にやさしい温泉であり、高齢者や幼児などに向く。
アルカリ性単純温泉 例) 桂温泉	pH8.5以上の単純温泉で、通常の温泉よりも刺激が少ない温泉である。
塩化物泉 例) えちご川口温泉、麻生の湯	体を温める効果が大きく、血液の循環を良くする。保温効果が高く、湯冷めしにくいため、冷え症にも効果がある。
泉質名なし 例) 灰下の湯 東栄館	温泉の条件をもつ成分(塩化物イオンなど)が療養泉の規定値未満の温泉。非常に成分が薄い温泉である。



(左) 写真1

ゼミでの施設調査の事前準備

回数を重ねてゆくごとに要領も次第につかめてきた。苦勞を共にするなかで3人でお互いにコミュニケーションがうまく取れるようになっていた。

2-2 長岡周辺地域の利用料金と営業時間について

2-2-1 長岡周辺地域の温泉・入浴施設の料金相場は新潟県の中では少し高い？

佐々木信行著『温泉の科学』によると、¹全国の日帰り温泉の料金相場は400～800円で、大型温泉施設だと1,500～2,000円だという。新潟県の日帰り温泉施設と入浴施設の料金相場は以下の通りである。この料金相場は、ガイドブック『新潟ほっと日帰り湯』に掲載されていた約172軒の日帰り温泉と入浴施設の地区ごとの平均金額をおおまかに算出したものである。こうしてみると長岡の料金相場は、全国的に見ると平均的だが、新潟県内の他の地区と比べると少々割高であるとも言える。

写真2『新潟ほっと日帰り湯』

表5

新潟県内における日帰り温泉と入浴施設の料金相場の比較

地区	日帰り温泉	入浴施設
下越地区	300～500円	500～600円
中越地区	500～700円	400～600円
上越地区	400～500円	400～500円



2-2-2 地価と入浴料金との関係性と地域からの補助金の有無

上記のように価格の差が出ているのは、ひょっとして地価が関係しているのではないかと考えて調べてみた。温泉郷としてまとまっている地域を除くと、下越地区では胎内市と新発田市に日帰り温泉や入浴施設が多く、上越地区では上越市と妙高市に集中している。

2015年の地価を試しに調べてみると、胎内市の地価平均が約18,000円、新発田市が約26,000円、上越市は約27,000円、妙高市は約19,000円である。長岡市は約45,000円と例に挙げた他の市よりもはるかに高かった。

筆者も日常的に長岡市内でアパート暮らしをしていると、実家のある新潟市北区に比べいろいろと若干高いな、と感じることはある。地価が入浴料金にどれほど影響しているか定かではないが、温泉は建物だけでなく、維持管理用の施設や利用者用の駐車場など比較的広大なスペースを必要とする。何らかの因果関係があるのかも知れないと推測される。ちなみに、入浴施設はどここの地区でも料金相場の変動はあまりないようであった。

施設の料金については、当ゼミのアドバイザーでもある「えちご川口温泉ホテル・サンローラ」の副支配人で温泉ソムリエの小林説人さんから伺ったお話が興味深かった。「各施設の料金が1,000円までに抑えられているのは市の補助金があるからで、補助金がなければ現在の日帰り入浴料金では済まなくなってくる。補助金なしで経営を行うためには、新潟市中央区のホンマ健康ランドのようにかなり高い金額をとらなくてはならない」という。

¹ 佐々木信行 著 「温泉と科学」165ページより。

温泉や入浴施設は、衛生管理費やメンテナンス費、加えて数年に一度の立ち入り検査といった費用が掛かってくる。そのため、施設を維持するには多額の維持管理費用を要する。補助金がなければこれらの費用がネックとなり、経営が非常に困難になってしまうようだ。施設の経営は思っていた以上にシビアのようである。

2-2-3 長岡の温泉・入浴施設の利用料金と営業時間

長岡市内にある主な温泉施設の日帰り入浴料金と営業時間は以下の表 6 の通りである。冬期は若干異なる場合もあるが、多くの施設が夜の 21～22 時頃まで営業している。営業時間が長い施設は、昼間は少し高めの料金でも、17 時以降になると夜間割引が適用され 100～200 円ほど安くなるケースが多い。また、「志保の里荘」や「おいらこの湯」などの行政の管轄である施設は、道の駅などと同様に比較的早く閉館するようだ。

表 6 長岡市内の主な温泉施設の料金一覧と営業時間

* 2016 年 1 月現在

施設名	料金	営業時間
喜芳	平日 870 円 (17 時以降 600 円) 週末 1,080 円 (17 時以降 810 円)	10:00～22:00 (日帰り入浴)
よもぎひら温泉 和泉屋	1,000 円 (立ち寄り湯)	11:00～20:00
えちご川口温泉	700 円	10:00～21:00
麻生の湯	800 円 (17 時以降 670 円) 910 円 (館内着付き)	9:30～24:00 (火曜日は 23 時まで)
アクアーレ長岡	760 円	10:00～21:30
寺宝温泉	700 円 (17 時以降 600 円)	4 月～9 月 7:00～22:00 10 月～3 月 7:00～21:00
太古の湯	700 円	10:00～21:00
桂温泉	550 円	10:00～21:00
長岡かまぶろ温泉	520 円 (入浴のみ)	10:00～21:00
灰下の湯 東栄館	500 円 (入浴のみ)	10:00～17:00 (入浴のみは 9:00～19:00)
志保の里荘	500 円	9:00～19:00 (1～2 月は 17 時まで)
おいらこの湯	400 円	12:00～19:00

表 6 においては、「麻生の湯」が日帰り温泉施設の中では、一番長く営業していることがわかる。夜間割引サービスもあり、仕事終わりのサラリーマンやバイトが終わった学生などにとっては嬉しいサービスだ。しかし、営業時間を他の施設よりも長くすることは、集客効果を期待できる反面、他の施設よりも多く人件費や水道光熱費などの固定費が発生する。そのため、増加した固定費が原因で、経営状態を圧迫するリスクも高いと言える。

表 7 長岡市内の主な入浴施設の入浴料金一覧と営業時間 *2016年1月現在

施設名	入浴料金	営業時間
越後長岡ゆらいや	650円（会員600円）	10:00～24:30
エコトピア寿	500円	10:00～20:00
あまやち会館	500円	9:30～16:30
養楽館 延命の湯	400円	10:00～20:00

温泉だけでなく、入浴施設の料金についても比較してみた。「ゆらいや」は長岡だけでなく新潟でもテレビCMを流していて、非常に印象が大きい施設である。長岡の入浴施設といえば「ゆらいや」が思い浮かぶし、インターネットで検索すると必ず冒頭に出てくる。

今年度のゼミ活動ではそこまで回れなかったが、長岡市内の入浴施設には他にも「還元陶板浴ひかり」、「極楽湯」という施設があるようだ。ちなみに、「陶板浴」とは低温（48℃前後）のサウナで、無理なく体温を上昇させることができる。極楽湯は東京に本社を置く入浴施設のチェーン店で、電気風呂や窯風呂などのユニークな浴槽や、軽食コーナーもあるそうだ。

3. 長岡市及び周辺地域の温泉や入浴施設を取り巻くさまざまな問題について

3-1 温泉施設の初期投資や維持するための経営上の問題

温泉法の定義によれば、「温度が25℃以上でかつ、特有の含有成分（リチウムイオンや水素イオン、フッ素イオン）19種類の成分のうち、ひとつがそれぞれの基準値以上（リチウムイオン:1mg以上・水素イオン:1mg以上・フッ素イオン:2mg以上など）ものを含み、1ℓの温泉中の蒸発残渣の重量が1000mg以上のもの」が『温泉』と呼ばれる。

温泉施設の初期投資には、具体的な金額まではわからないが、本当にたくさんのお金が必要となるようだ。調査やボーリングに必要な費用だけではなく、自噴しない場合は汲み上げポンプを設置するため、さらに多額の投資が不可欠という。最初に温泉を掘ろうとするポイントの地質調査を行う際にも温泉審議会の許可が下りて初めて工事に着手できるそうだ。工事が完了したら立ち入り検査があり、それに合格した後にようやく温泉の営業が開始できるのだと伺った。温泉施設は初期投資に衛生管理費やメンテナンス費、源泉の温度が低い場合は加温するためにボイラーが必要など、多くのランニングコストがかかる。温泉の営業を開始した後も、定期的なレジオネラ菌検査や、温泉分析の再提出などのさまざまな義務がある。

ヒアリングでお話を伺っていて、施設の維持管理のあまりの大変さに気が遠くなった。こちらが考える以上に、温泉施設を取り巻く諸問題は山積みであった。本当に大変なのだとはたすら圧倒されてしまったが、だからこそ施設側のサービスと利用者のニーズがうまく噛み合って、温泉という地域の資源がより活性化することを願ってやまない。

3-2 公共性を損なう利用者側のマナーの問題

経営についての問題は大きな問題だが、その他にもさまざまにデリケートな問題点がある。「麻生の湯」の小林和彦さんの話によれば、「営業時間を長くすれば、集客効果は望めるが、マナーの悪い人が増えてしまう」というのだ。

ここで言うマナーが悪い人とは、「かけ湯をしないで浴槽に入る」、「湯船にタオルを入れる」、「シャワーを使うときに周りの人の存在を考えずにお湯や水を飛ばす」といった、公共性を損なう行為を平気とする人のことである。筆者も温泉や入浴施設を利用している時に何度か目撃したことがあって、非常に不快な思いをさせられた。施設側もあまりにも利用者のマナーが悪くて目に余る場合、出入り禁止にすることもするという。

地域活性化の発表会でも、筆者は公共の場である温泉施設でマナーを守れない人が増えているというのは寂しいと訴えた。公共性を損なう行為と一口に言ってもいろいろあるが、お金を払ったからといって好き勝手にするのは筋違いというのに変わりはない。

多くの施設では、利用者の「モラルの低下」が問題になっている。「館内着はいらぬから、料金を安くしろ」といったクレームまがいのものや、貸し出したタオルや館内着を勝手に持って行って帰ってしまう利用者もいるという。

「よもぎひら温泉和泉屋」の金内智子さんによれば、「中高年の特に女性のマナーが悪くなっている」とのことだった。マナーの問題は日帰り入浴施設に限った話ではないようだ。

今回調査を行った時間帯はほとんどが平日の昼間で、各施設で目にした利用者の大半は中高年から高齢者の方々だった。マナーも気になるが、それと同じくらい浴場内での転倒や事故などには細心の注意を払う必要があると感じた。

温泉や入浴施設は非常に滑りやすく、身体の不自由な人や高齢者が足を滑らせ転倒し、そのまま重大な事故に発展する可能性がある。特に滑りやすく危険な箇所には滑り止めのマットを敷くなどの安全対策は早急に行わなければならないだろう。

3-3 入れ墨やタトゥーの問題について

温泉や入浴施設を訪れて、玄関などに「入れ墨がある方入浴お断り」という注意書きを見たことはないだろうか。ほとんどの施設で注意書きとして貼ってあるはずだ。調査してきた過程で「入れ墨問題」がどの施設でも共通で問題になっていることに気がついた。最初は「体に掘っているもので衛生的にあまり良くないからか？」と簡単に考えていたが、調べてみるともっと複雑でシビアな問題が背景に潜んでいることがわかった。

ここで言う「入れ墨」とは身体装飾の意味を指す。昔は個体認識や社会的地位や身分の表示を表していたようだ。日本では入れ墨や紋身や彫り物と呼ばれ、海外ではタトゥーと呼ばれる。入れ墨もタトゥーも彫り物をする点では変わりはないが、若干の違いがある。入れ墨は肌に入る針に深さがあるため、入れ墨を施す皮膚が盛り上がることもあるそうだ。タトゥーは針が入る深さがとても浅いので、入れ墨のように皮膚が盛り上がることはない。タトゥーはペイントのように見えるが、一度彫り物を施してしまうと簡単には消せない。

(<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%85%A5%E3%82%8C%E5%A2%A8> より一部引用)

日本人は入れ墨に対し「反社会的」という印象を持ちやすい。ところが、海外におけるタトゥーは「ファッション」のイメージが強い。何かの記念にタトゥーを入れたり、親が子供の誕生日に思いをこめてというケースもある。日本でも著名人がファッションとしてタトゥーを入れている人もいるらしい。

問題なのは、入れ墨すなわちタトゥーがファッションなのか、そうでないのかを見分けるのが非常に難しいという点である。現状では両者の区別がつかないため全面的に入浴を禁止しているようだ。しかし、本来この注意書きは「反社会的な勢力を排除する」という名目なのに、そうでない人も巻き込んでしまう恐れがある。利用者にいちいち身体検査をしたり、「それはファッションですか？」と聞くわけにもいかない。線引きがとても難しい。

ところで、筆者はかつてある場所で入れ墨を入れた人が普通に入浴している姿を目撃し驚いたことがある。「入れ墨・タトゥーお断り」という注意書きはなかった。他の入浴客も特に驚いた様子や、怖がってそそくさと出ていく様子もなく、のんびり浸かっていた。施設側も見て見ぬふりをしているだけなのかと思ったが、どうもそれはどうも違うようだ。

気になったので、公衆浴場法なども調べてみた。結論から言うと、「入浴施設は入れ墨がある人を拒否することはできない」という主張の根拠は、公衆浴場法の規定により入浴客を拒否できるケースは、伝染病に感染している人や公共の場である入浴場で著しく公共性を乱すような行為をする人だからである。日常生活に必要な入浴を拒否されると生存権の侵害になりかねない、という見方もあるようだ。しかし、健康ランドや温泉プールといった施設が「娯楽施設」と判断された場合、入浴を拒否することができるようだ。入浴を生活の一部として考えるか、娯楽として捉えるかが、一応の判断基準になっているらしい。

ところが、円安などで訪日外国人観光客が増加する中、「入れ墨・タトゥー」問題の波紋が広がっている。平成 27 年 1～3 月期の観光庁の調査によると、訪日外国人観光客が、次回日本を訪れたときにやりたいことの 1 位が「日本食を食べる」、2 位が「ショッピング」、3 位が「温泉入浴」である。同時期の消費動向調査では、39.8%の外国人が「温泉入浴」を「今回の訪日でしたこと」と回答している。世界的にも日本の温泉という文化は非常に魅力的であるということがわかる。

しかし、日本国内の施設には「入れ墨・タトゥー」に対する根強い抵抗感があるようだ。今回の地域活性化の調査活動で、「入れ墨をしているお客さんでも歓迎はしたいが、リピーターの方々が入れ墨をいれている人を怖がって離れられては困る」という生の声を聞くことができた。この問題は、利用者と施設側の両者がお互いに納得しないと根本的な解決には至らないような気がする。

最近の朝日新聞の記事によると「入れ墨がある方お断り」の注意書きを見直す動きが増えているという。禁止というよりは、例えば、入れ墨を入れている個所にシールを貼り、隠せば入浴ができるというニュアンスのようだ。ヒアリングを行ったある施設の担当者は、「貸切風呂を使ってもらおう」ということを話していた。

2020 年に東京オリンピックが開催されれば、海外から多くの人を訪れることが予想される。外国人が訪れることにより利用者ニーズの多様化がより進み、今以上に温泉施設を取り巻く環境は複雑化することも考えられる。タトゥーや入れ墨の問題をどうするのか。専用の施設を作るのか、施設がルールを改めるのか、今施設の変革が問われている。

4 他の地域の温泉の興味深い取り組み例の紹介

4-1 取り組み例その1 岐阜県「^{げろおんせん}下呂温泉」の湯めぐり手形と下呂温泉マップ

下呂温泉は他ではあまり見ない珍しい取り組みを行っていた。それは「湯めぐり手形」と呼ばれる木札の券（写真3）を購入すると、温泉街の中の好きな施設を3か所利用できるというものである。券1枚で3か所利用でき、価格が1,300円である。下呂市の公式サイトによると、手形加盟店は25件ほどあるという。日帰りで旅館の温泉が利用することができることに加えて、温泉旅館の立ち寄り湯は料金が1,000円を超えるところが多く、非常にお得な券となっている。手形の有効期限が6カ月と長く、使いきれなかった場合、次回来るときに持ち越すことができる。リピーターを増やす戦略なのだろうか。

写真4は下呂温泉マップで、このマップを片手に温泉地を巡り歩くのである。

写真3 湯めぐり手形



写真4 下呂温泉マップ



4-2 取り組み例その2 阿賀町「七福荘」の冷たい温泉「冷泉風呂」

新潟県にある阿賀町の温泉施設「七福荘」では、「冷泉風呂」というものが夏の名物になっている。「温泉＝熱いもの」というイメージが定着しているが、「七福荘」では新潟日報によると、²「冷泉風呂」は、源泉の温度が低いことを利用したものであり、温度を25℃程度に調整したものである。

「暑い夏には気持ちがいい」と訪れる利用者には好評のようであり、特に子供にはプールのような感じで大人気ようだ。そのため、利用客は子供連れの人たちが多く見受けられた。暑い夏でもさっぱりし、風呂上りも汗だくにならなくて済むのが特徴である。



写真5 「七福荘」冷泉風呂

² 新潟日報（2014年8月14日） 面名：地区F「猛暑でも湯上り爽快」より。

阿賀町にある祖母の家を訪れた際、タイミングよく「冷泉風呂」の話聞いた。物珍しさに惹かれ、実際に「七福荘」へ行ってみた。入ってみると水風呂よりは冷たくはなく、その時はちょうど時期が夏だったので、気持ちが良かった。

筆者の「温泉＝熱いもの」という思い込みが、「冷泉風呂」により払拭された。多くの人は「温泉は熱いもの」という固定概念があり、「源泉の温度が低ければ、加熱をしないと使えない」と考えるのが普通だ。人間はしばしば先入観に囚われて、斬新なアイデアがなかなか出てこない。敢えて先入観を捨て去って、利用者の予想の斜め上に行くことで、「珍しいもの」「新しいもの」と認識され、話題性を勝ち取ることが大切である。施設の中にあるものをよく見まわせば、意外と新たなビジネスチャンスがあるのかもしれない。

4-3 取り組み例その3 大分県「由布院」

由布院は日本を代表する温泉地である。由布院駅には、キャリーケースを引っ張っている人や、大きなカバンを持った観光客がとてまたくさんいた。外国人（特に中国人）も多く見られ、海外からの認知度の高さも知ることができた。

由布院は辺り一面が田園に囲まれており、長岡と少し似て雰囲気もある。非常に景色が良く、施設を移動する際は徒歩で移動するのも良いし、辻馬車と呼ばれる馬車が由布院の町を巡っている。馬車に揺られながら観光するのも良いだろう。

写真6 由布院駅前の風景



写真7 由布院駅前のメインストリート



今回の旅行の目的地は、写真8の「庄屋の館」である。この温泉は非常に綺麗な色の温泉で、是非一度入ってみたかった。湧き出たときは無色透明で成分の化学反応で空気に触れると色が変わるといふ。天然で日により濃さが変わるらしい。筆者が訪れたときは非常に濃い色で、ホームページの写真以上に綺麗な色であった。機会があれば、ぜひ一度訪れてみてはいかがだろうか。このような「珍しいもの」があると人は集まってくるのだろう。長岡市にも人を呼びよせる何か「珍しいもの」はないだろうか。



写真8 庄屋の館

5 長岡の温泉・入浴施設の取り巻く環境の現状と考察

5-1 ヒアリングの実施

写真9 寺宝温泉でのヒアリング

これまで調査した施設のうち、えちご川口温泉、喜芳、麻生の湯、桂温泉、よもぎひら温泉和泉屋、寺宝温泉の6か所の温泉施設についてヒアリング調査の協力を得ることができた。

日帰り入浴施設を2カ所（麻生の湯・桂温泉）、宿泊もできて日帰り温泉にも入れる施設を4カ所（寺宝温泉、えちご川口温泉、蓬平温泉和泉屋、喜芳）それぞれ長岡市内で特徴的な施設ばかりだ。



ヒアリングの目的は、実際にお話を伺うことでパンフレットやホームページを見ただけではわからない施設の内情や、集客の工夫などの情報を掴むことである。施設の人の目線に沿うことで、各施設の経営戦略やターゲットとなる利用者が少しずつ見えてきた。

ヒアリング時間は30分から1時間程度であり、主な質問事項は以下の通りである。

- ① 利用客の年代層、各施設共通の男女比など。
- ② お客様に来てもらうためにどのような工夫・サービスを行っているか。
- ③ 地域の人たちに対し、施設がどのような役割を果たしていると思うか。
- ④ 施設のアピールポイントや、おすすめのポイント
- ⑤ 経営をしていく上で、やりがいを感じていることや苦勞していること。

5-2 利用者の年代層から見る各施設の特徴

長岡市は人口の4割弱を60才以上の方が占めているため、多くの施設が中高年や高齢者を念頭に考えているようだ。ヒアリング内容の詳細は後に示したが、特に「寺宝温泉」、「えちご川口温泉」、「喜芳」の客層や特徴を挙げる。

5-2-1 事例1 寺宝温泉

「寺宝温泉」はリピーターが特に多いと感じた。年代層は高齢者が中心というのは他の施設とあまり変わらないのだが、地元の人よりも長岡市外（主に下越方面）や新潟県外からの利用者が多いことが他の施設とは若干異なる。下越からの利用者が50%で、地元と県外を合わせて50%と伺った際は意外な気がした。

寺宝温泉は体に気泡がまとわりつくのが特徴的だ。まとわりつく気泡が皮膚から吸収され血管を拡張し、血液循環が良くなるそうだ。泡のためにぬるめのお湯になっている。身体は芯からじわじわと温まり、保温性には優れている。湯治を勧める医師も多くという。泉質の良さに加え全館バリアフリーで、高齢者にとっては安心して利用できる施設である。

5-2-2 事例 2 えちご川口温泉

「えちご川口温泉」の主な利用者は中高年層のようだ。9割近くが地元の利用者で、リピーターは8割強というのはすごい。今後はカップルやファミリーなどの若年層の集客を強化していきたいと伺った。また、関越自動車道越後川口ICから約10分とアクセスしやすいのも魅力である。冬場になると関東は乾燥するため、関東方面の利用者も増えるらしい。営業にも相当力を入れていて、東京都内でも施設紹介のパンフレットを見かけると聞いた。

「えちご川口温泉」は地元の宝、すなわち自慢できる施設として位置付けられている。同時に情報発信施設としての効能を併せ持つ「ランドマーク」のような存在とも言える。

5-2-3 事例 3 喜芳

「喜芳」はかなり明確なターゲティングを行っていた。ターゲットとしたい客層を敢えて「中高年の女性」と限定する戦略を取っている。実際に施設へ訪れた時、中高年の女性客が多く見られた。「喜芳」の丸山さんは、「中高年の女性の方々は比較的に関時間やお金に余裕があるため、施設を何度も利用してくれる」と理由を教えて下さった。「長時間滞在」というコンセプトに「比較的関時間やお金のある中高年の女性」という要因がうまく噛み合った戦略であるとも言える。

宣伝にも力を入れており、宴会で施設を使ってもらえるように企業へ営業活動を行った。中高年の方が新聞を読むことを見越してチラシをいれているなどの取り組みを行っている。また、寺泊水族館と協力し、お互いの施設のパンフレットを置くことでお互いを宣伝する取り組みも行っている。

加えて、料金の部分でも触れたが、他の施設よりも料金が高めに設定してある。ある程度高めに料金を設定することにより、利用者のモラル低下を防ぎ、施設の公共性を守っているのだという。

5-3 ターゲティングによる経営の戦略と長岡市の今後

利用者となる客層を絞っていくのは、温泉の経営でも非常に重要なポイントだという。「えちご川口温泉」の小林さんによれば、「ニーズが多様化している中で、ある程度、年代層を絞らないと施設が中途半端になってしまい、経営がうまくいかない」とのことである。

いわゆるターゲティングであるが、長岡市の場合は高齢者が多いため、高齢者を軸として考えてゆくのは妥当な選択だと思われる。しかし、超高齢化と少子化がますます進んで人口減少になかなか歯止めが効かない。長岡市では人口減少問題に本格的に取り組む姿勢を見せているが、高齢者が健康で元気に長生きできる住みやすい町という点でも社会福祉政策の充実が課題となってくるだろう。

6. 長岡市内の温泉施設へのヒアリング

6-1 寺宝温泉 ヒアリング概要

日 時：平成 27 年 11 月 18 日（水）20 時 00 分～22 時 00 分

対応者：寺宝温泉 館長 青柳 良一 様

参加者：4 年 釣巻 貴弥、井口 美咲、3 年 丸山 貴樹、中沢 裕太

教 員：山川 智子

6-1-1 寺宝温泉の概要とヒアリングの目的

写真 10 寺宝温泉正面玄関

「寺宝温泉」の最大の魅力は自噴量だ。その多さ故に、お湯はすべて掛け捨てている。他の源泉かけ流しの温泉施設は、流したお湯をきれいにして再び流す方式が多いが、「寺宝温泉」は常に新しいお湯が供給されている。

ヒアリングの目的は、自らの湯治体験を元に温泉の掘削から建設まで行った「寺宝温泉」の青柳良一さんから、温泉の経営や施設の維持管理について、さらに今後施設が目指すものなどを伺うことであった。



6-1-2 ヒアリング内容【質疑応答内容】

質問 1 この施設を利用して欲しいお客様は、どのような方たちですか？

主に高齢者や重度の障害を抱えている人に利用してもらいたいと考えている。温泉はぬるめのお湯でゆっくりと浸かることができるため、身体に与える影響が少なく入りやすいという特徴があるからである。また、湯温が高めの温泉と低めの温泉があるので、利用者の好みや体調に合わせて好きな方に入ることもできる。



写真 11 寺宝温泉駐車場

質問 2 お客様に来てもらうためにどのような工夫、サービスを行っていますか？

建物を全館バリアフリーにしたことで、身体の不自由な利用者にも安心安全に利用してもらえるようになった。他にも、湯治をするために長い期間の滞在と湯治を希望する利用者に対して、比較的リーズナブルな価格で宿泊できるようにしている。

質問 3 寺宝温泉の強みやアピールポイント、おすすめのポイントは何ですか？

自噴量が豊富で、源泉掛け捨ての温泉であるのが最大の強みである。豊富な自噴量ゆえシャワーまで源泉を使っている。源泉を掛け捨てにしているので綺麗なお湯がどんどん供給される。循環方式とは根本的に違い衛生面的に清潔である。

あとは災害対策に特化した建物であることだ。宿泊用の各部屋には自炊用の IH クッキングヒーターと冷蔵庫がある。火災の発生を防ぐため、ガスにはしなかった。仮に災害が起これば、停電や断水になっても自家発電の設備や温泉の自噴量が豊富なため水源は確保できる。「何が起これば大丈夫な施設」とうのがポイントである。中越地震が発生した時は、他の施設は停電や断水で営業ができない状態であったが、寺宝温泉は被害を最小限に食い止め、地域住民に無料で温泉を開放していた。



(左) 写真 12 玄関では縁起物のかえるがお出迎えしてくれる。

(右) 写真 13 露天風呂豊富な噴出量を誇る。



問 4 やりがいや大変だったことはありますか。

大変だったのは、自分勝手な利用者がいたことだ。過去に「ポイントカード」会員制をしていた頃に、ポイントがたくさん貯まったからと我が物顔で振る舞い、温泉を独占する利用者が現れたことがあった。しかも、わがままを言う人は、何故か地位の高い人が多い。

問 5 地元の人と地元の人以外ではどちらが多いですか？

地元の人が約 30%で、下越方面から訪れる人が約 50%と半数を占めており、県外からくる人は約 20%というようになっている。観光で訪れる人はほとんどいない。

6-1-3 【ヒアリングからの考察】新規の利用者を獲得するためには

「寺宝温泉」にとって健康は重要なアピールポイントだ。「リピーターだけでなく新規のお客さんも増やしたい」と青柳さんはおっしゃっていた。市外の利用者が多いのなら、市外にある高齢者施設などにパンフレットを配布して、「寺宝温泉」の知名度をもっと上げることができれば、より多くの利用者呼び寄せられるのではないだろうか。

現在は食事処がないようだが、出前でもいいから、健康を意識した食事サービスを入浴と併せて提供し、「健康施設」として宣伝してみるのはどうだろうか。この取り組みで、市内の新たな利用者の獲得ができるのではないかと思われる。

実際に利用してみて、温泉への入り口がわかりにくいとか、泉質のせいもあるだろうが浴室の足場が非常に滑りやすいとか、いくつか気になる点があった。「とても良い温泉なのであまり人には教えたくない。」というのはあくまでも逆説的な宣伝文句だと思うが、温泉は公共物だとも言える。一人占めしないで、多くの人にその良さを知って欲しいと思った。

6-2 えちご川口温泉 ホテル・サンローラ ヒアリング概要

日 時：平成 27 年 12 月 2 日（水）20 時 30 分～21：30 分（1 泊 2 日の宿泊中に実施）
対応者：えちご川口温泉 ホテル・サンローラ 副支配人 小林 説人 様
参加者：4 年 釣巻 貴弥、井口 美咲
教 員：山川智子

6-2-1 えちご川口温泉とホテルサンローラの概要とヒアリングの目的

日帰り温泉の「えちご川口温泉」と宿泊施設の「ホテル・サンローラ」の建物は相互に繋がっており、宿泊客はホテルの部屋から日帰り入浴施設へと行き来することが出来る。利用者は地元の人が多く、リピート率も高い。塩分濃度が濃く、温泉成分が浸透しやすい泉質が特徴と言える。露天風呂からの越後三山や信濃川や魚野川を眺めは絶景である。

ヒアリングを行った目的は、温泉ソムリエである副支配人の小林説人さんから、温泉についての細かい知識や私たちの活動へのアドバイスを頂けると期待したからだ。他にも、宿泊客限定の温泉（内湯）に入ることができるのと、泊まることによって日帰り温泉では窺えない部分を見ることが出来ると考えたからでもある。小林さんのご都合に合わせて、ゆっくりとお話を伺うことが出来ただけでなく、ヒアリング後すぐにまとめ作業に入れた。



写真 13（左） 露天風呂からの風景

写真 14（右） 大浴場からの眺め

（写真引用）オフィシャルサイト ホテルサンローラ・えちご川口温泉

6-2-2 ヒアリング内容【質疑応答内容】

あらかじめ 12 個の質問項目を用意した。主なターゲットとなる客層やさらに利用者呼び込むためにどのような工夫をしているかなど、えちご川口温泉とホテルサンローラの現状を把握し、観光業として活用するために改革すると良い点を考察した。

質問 1 対象にしている客層を教えてください。

現在は中高年層を中心に集客している。今後はカップルやファミリー・小グループなどの若年層の集客を強化していきたいと考えている。

質問 2 利用者に来てもらうためにどのような工夫、サービスを行っていますか？

新潟県や長岡市への企画でイベントや情報誌への参画をしている。(スタンプラリー企画やスキー場でのパンフレット配布など)他に子供を対象にしたイベントを行っている。

質問 3 年間の利用者数を教えてください。

年間約 15 万人の方が訪れている。

質問 4 地域の人たちに対して、施設がどのような役割を果たしていると思いますか？

「地域の宝」(自慢できる観光施設)としての位置づけを果たしている。情報発信施設としての機能を併せ持つ「ランドマーク」的な役割もある。地元の利用者が圧倒的に多い。

質問 5 えちご川口温泉の強みやアピールポイント、おすすめは何ですか？

国道 17 号線や高速道路にも近く、長岡市・小千谷市・魚沼市から車で概ね 30 分前後のアクセスの良さは強みだ。他にも、展望露天風呂と浴槽からの眺望のすばらしさ、7 種類の浴槽の種類の多さや泉質、バリアフリー対応や冷暖房設備の充実さなどが強みである。

ホテルのフロントには夕日の見ごろの時間が掲載している。

質問 6 経営していく上で、最近力を入れている事を教えてください。

以前やっていたポイント制を復活し、リピート率の向上を図った。売店を充実させるため、当館でしか買えない商品を置くことや人気商品等の発掘を積極的に行った。

質問 7 バリアフリーへの配慮はどのようなことをしていますか？

正面玄関からは無段差のスロープ構造で、エレベーターや車いす対応のトイレもある。長岡市出身で観光温泉大使である温泉エッセイストの山崎まゆみ氏の近著『バリアフリー温泉で家族旅行』でも、当館は紹介されている。

質問 8 清掃はどのくらいの頻度で行っていますか？

浴室内はオープン前に毎日行っている。室内の浴槽は週 1 回水抜きをして清掃する。露天風呂、源泉風呂は毎日水を入れ替えて清掃している。

質問 9 ライバルだと思う施設はありますか？

特になし。立地など相違点が多いので。

質問 10 やりがいまたは大変だったことはありますか？

旧川口町の運営だったので、長岡市へ移行した後も施設全体の宣伝活動を行っておらず、当時は知名度が低かった。そのため、ポスター作成やパンフレットの内容変更作業など、原点からの見直しを行いつつ、セールス強化も行った。その結果、長岡市を中心として中央エリア、県央エリア、柏崎エリアからのお客様も多くなり、それがやりがいだと感じた。

質問 11 観光客や地元のお客さんの割合とリピーターがどのくらいか教えてください。

9 割以上が地元のお客様で、リピーターは 8 割強いる。

質問 12 どの時期が一番混みますか？

年間を通して週末は混み合う。特にGWや年末年始は繁盛期である。春の田植えや秋の稲刈りが終わると宴会の予約も多くなる。正月明けから2月いっぱいまでは降雪などの気象状況によっては遠方からの利用者が減る。

6-2-3. 【ヒアリングからの考察】近年の温泉業界の現状と経営方針について

「温泉経営は新しい経営のやりかたを始めると、昔からのお客さんが離れていくなど、昔ながらの方法も継承しないと上手くいかない施設もある。老舗旅館のように古い雰囲気だけを残していても、清掃の行き届いていない場所に人は来ない。清掃なども隅々まで行き届いたサービスや心配りが大切で、古くても味があって綺麗なところは長く愛され続け、経営が上手くいくようだ。」以上は、小林さんのお言葉で、特に印象に残ったものである。

長岡には特徴的な温泉が多くあるが、地域が離れているので組合を作ることは難しい。温泉経営は色々なお客さんをたくさん呼び込めば良い訳では無く、どのようなお客さんを呼び込みたいかを明確にして、ポイントを絞って経営している温泉施設に勝算があると伺ったのは目からウロコだった。その温泉施設のアピールポイントを活かし、それを求めている人にターゲットを絞って、アプローチをかけることが重要だと実感した。

6-2-4 ホテル・サンローラに宿泊して気づいた感想と今後の経営戦略への提案

実際に宿泊してみて、どの客層でも満足できる施設だと感じた。客室の清掃状態の良さや景色のすばらしさ、地元食材を使った料理へのこだわりなど強みが多い。利用者の9割が地元のお客さんだと伺い、地元川口地域の大切な宝として愛されているのだと思った。

このように素晴らしい宿泊施設があるなら、観光客をもっと呼び込むことも可能だろう。小林さんからはカップルやファミリー層を増やしたいと伺った。カップル限定のプランや子供が遊べるスペースを作ることなどが重要ではないかと感じた。

例えば、カップルプランでは、ワインやケーキなどの特典を付け、サプライズなどのサービスをすると喜んでくれるのではないだろうか。そして、次回の利用が割引になるチケットも付けるとリピート率の向上にも繋がるのではないだろうか。

ファミリー層を増やすのであれば、家族風呂を利用してくれた方には、お子さん向けのお菓子やおもちゃのプレゼント、またはお子さん向けの料理メニューを提供すると良いのではないだろうか。

また、冬場は降雪状況によって遠方からの利用者が減るようだが、スキー場利用後の人限定の宿泊特典を付けるなど工夫をすることも可能ではないかと思った。

「えちご川口温泉」そして「ホテル・サンローラ」は、地元のお客さんからとても愛されていることが良く分かった。これからも地元のお客さんやリピーターを大切にしつつ、新たな客層や観光客の獲得を目指して、川口地域の活性化と温泉業界の発展に貢献して欲しいと強く思った。

6-3 よもぎひら温泉 和泉屋 ヒアリング概要

日 時：平成27年11月24日（火）11時～15時
対応者：よもぎひら温泉 和泉屋 常務 金内 智子 様
参加者：4年 釣巻 貴弥、井口 美咲 3年 丸山 貴樹
教 員：山川智子

6-3-1 よもぎひら温泉 和泉屋の概要とヒアリングの目的

「よもぎひら温泉和泉屋」は長岡市蓬平町にある温泉旅館で、「長岡の奥座敷」と言われている。「よもぎひら温泉和泉屋」は観光コンシェルジュとしての側面もあり、観光案内所として長岡の観光をPRし、地域創生に一役買っている。泉質は単純硫黄冷鉱泉で、入りやすい温泉である。立ち寄り湯の利用者に対してもレベルの高いおもてなしを行っている。

今回のヒアリングの目的は、長岡市内の温泉・入浴施設の中では最も格式の高い「よもぎひら温泉 和泉屋」で、実際にトップクラスのサービスやおもてなしを体験しつつ、他の施設とどんな違いがあるのかを身をもって知ることだ。また、どのようにすればおもてなしが徹底できるのか、社員教育のありかたについても詳しくお伺いすることができた。



写真 15 風情たっぷりの露天風呂

写真 16 庭にいたうさぎ（の置物）

6-3-2 ヒアリング内容【質疑応答内容】

質問 1 主にどのような方々に利用して欲しいと思いますか？

温泉を楽しみたい幅広い年代層の人達に来て欲しい。特にここの温泉は美肌効果があるので、女性の方々におすすめしたい。

質問 2 より多くのお客様から来てもらうために、どのような工夫やサービスを心掛けていらっしゃいますか？

立ち寄り湯は、若い人が多く利用する。今後、若い人にもっと温泉を知ってもらおうと考え、特に留学生の人を対象に「温泉体験」をしていきたいと考えている。

質問 3 よもぎひら温泉和泉屋さんの強みやアピールポイントは何ですか？

アピールポイントは明治 2 年に創業した老舗の宿で、泉質の良さがお客さんから評判で「美肌の湯」とも言われ、女性客に人気があることだ。大浴場と露天風呂には力を入れており、一番お金をかけている。露天風呂は実際に石を 200 個程運んで造ったものである。是非とも実際に来てこの風情のすばらしさを味わって欲しい。

質問 4 大変だったこと、困っていることは何ですか？

東日本大震災の影響で露天風呂が川に流されてしまった時に、市長のホームページからそのことが世間に広がってしまった。こちらとしてはあまり広げたくはなかったのだが。

インターネットが普及し、施設の情報がすぐ広まるため、小さいミスが大きなミスにつながってしまうことには注意している。

質問 5 温泉を経営していく上で、最近力を入れていることを教えてください。

東京オリンピックの開催に伴い、外国人観光客が増えることが予想される。従業員では英語を話せる人は 2 人、韓国語を話せる人は 1 人、中国語を話せる人は 1 人とあまり多くはないが、進んで外国人観光客を受け入れることが大切と思う。観光の情報をきめ細かくお客さんに伝えて観光の選択肢を与えることで、大勢の人に長岡の観光スポットを知ってもらえるのではないかな。

質問 7 利用客は地元の人が多いのでしょうか？

利用客の割合は、長岡市内から 6 割で、市外から来る人は 4 割程度である。また、田植えや稲刈り後はお客さんが増える。秋口は半々で若干県外の人が多い。

立ち寄り湯を始めたら、忙しい月で約 800 人程度のお客さんが来たこともある。

質問 8 観光をどのように考えているか教えてください。

観光というのは「裾野が広い」、「多くの雇用が生まれる」、「地域を発信できる」と地域創生につながる 3 つの重要な要因を含んでいる。若年層が地元に残り地域に貢献できる状況をつくるためには観光は非常に大切なものである。「興味があるもの」「感動したもの」に人は寄って来る。まさにそれこそが観光の真髄である。

6-3-3 【ヒアリング後の考察】サービス業において重要なこと

『お客様に笑顔と感動と喜びを』が 2015 年の「よもぎひら温泉和泉屋」キャッチコピーと金内さんに伺った。板前さんがどんなに美味しい料理を作っても、出す人の心がけ次第では、せっかくの料理の価値が激減する。サービス業は商売の 7 割が見た目で決まるという。見た目とは、顔立ちではなく人の表情である。相手を歓迎するという心からの気持ちがあれば、しっかりお客様に伝わる。それがサービス業にとって一番重要なことである。金内さんのように、お客様のことを第一に考え、常に良いサービスを提供することを考えている人による新人教育は、本当にきめ細かいところまで徹底していると圧倒された。

6-4 喜芳 ヒアリング概要

【日 時】平成 27 年 12 月 4 日（金）10 時 30 分~11 時 40 分

【対応者】営業・フロント係長 丸山 翔平 様

【参加者】4 年 釣巻 貴弥、井口 美咲

【教 員】山川 智子

6-4-1 「喜芳」の概要とヒアリングの目的

「喜芳」の館内はとても落ち着いた雰囲気的空間である。3 種類の露天風呂など浴槽のバリエーションも豊富な上に休憩所や仮眠室もあって、長時間滞在して疲れを癒すことが出来る施設になっている。やはり女性の人気が高く、特に中高年の利用者が多いようだ。以前ゼミで伺った際も、温泉や料理、施設の居心地の良さをみんなで実感したものだ。

ヒアリングの目的は、自分たちが気に入った点も踏まえて、どのようなサービスやこだわりを持って経営をしているのか学生の視点で掘り下げたかったからだ。経営面での苦勞などや問題点は、実際に施設を利用しただけではわからないことも多い。

「喜芳」の丸山翔平さんはお話しやすく、和やかな雰囲気の方だった。こちらの緊張をほぐすように、優しくわかりやすく丁寧にお答えいただいたのは大変有り難かった。自ら営業も担当されているため、温泉の営業がどのようなものかも具体的に伺うことが出来た。



写真 17 3 種類の露天風呂
(写真は公式サイトから引用)

6-4-2 ヒアリング内容【質疑応答内容】

質問 1 対象にしている地域や客層を教えてください。

三島・与板・越路・寺泊地域、古正寺 江陽地域、大島地域などの方で、地元に着してターゲットを絞っている。ターゲットは広いが地域は限定している。今までの統計やデータを見ると圧倒的に川西側のお客が多い。他の温泉施設がある地域の方を獲得することは基本的には難しい。似たような特徴で競合する温泉は長岡市内にはあまりないようだ。

客層は中高年、特に 50~60 代の中高年の女性の方が多く、温泉や食事、リラクゼーションなどフルコースでご利用になる方もいる。一日ゆっくりくつろぐことができる施設をコンセプトにしている。近くに三島市民体育館があるため、スポーツをした後に汗を流しに利用する人もいるようだ。夕方は家族連れが多く、小さい子供の姿もかなり目にする。

質問 2 喜芳さんの強みやアピールポイントを教えてください。

まず、送迎バスを完備していることだ。見附・中之島・小国・寺泊・柏崎地域まで送迎する。46人乗り・28人乗りのバスと9人乗りのハイエースを用意している。次に料理で、飲食メニューは約200種類揃えている。食材は市場から仕入れたり、作る前の食材選びからこだわっている。料理だけ食べにいらっしゃるお客様もいる。仮眠室があるため、赤ちゃんのお世話をする時にご案内することが出来る点も強みと言える。

質問 3 敢えて伺いますが、弱みはありますか？

当館の場所をお客様に説明しづらい所が少し難点である。迷ってしまう人もいないだろうか。他には、料金が他の温泉施設に比べて高いことが挙げられる。しかし、料金を下げずに良いものを提供することにこだわりがあるため、そこは変えない方針だ。

質問 4 困っていることはありますか？

宴会でたくさんお酒を飲んでから温泉に入られる方は、危ないので気をつけて欲しい。入れ墨のお客様は固くお断りしている。細かいところを見ればいくつか困った点はあるが、比較的マナーの悪いお客様は少なくて恵まれていると思う。

質問 5 どのように宣伝していますか？

道の駅やまちの駅などにチラシやパンフレットを置かせていただいている。寺泊の水族館とはお互いの施設のパンフレットを置いて、どちらにもメリットがあるようにしている。

新潟の情報冊子にも積極的に情報を提供している。月刊にいがたさんとは良い関係で、若い方が見て利用が増えることを期待している。

質問 6 掃除はどのくらいの頻度でしていますか？

1日2回閉館後と、翌日開館前に最終チェックも兼ねて2~3人体制で清掃している。

質問 7 アンケートからお客様の意見を取り入れた点はありますか？

アンケートは毎月150~200枚くらい書いていただいている。アンケートからどの地域のお客様が多いかわかるのでそこからターゲットを絞っている。長時間滞在してくつろぎたいお客様の為に、リクライニングチェアを導入した。他には女子会プランを利用する方の年代が40~50代の方が多いためその年代に合わせたプランを考えている。

質問 8 海外のお客様もいますか？

海外は、中国や韓国などアジア系のお客様が多い。海外のお客様は日本人の方と一緒に来る方もいる。実際に利用した時も者アジア系のお客様を何人か見かけた。

質問 9 バリアフリーへの配慮はどのくらいしていますか。

車いすで来られた方は、エレベーターや入口にスロープがあるため安心して利用できる。部屋の段差は持ち運びできるスロープを利用し対応している。

質問 10 温泉の営業とはどのようなものですか？

温泉の営業は、昨年宴会を予約してくださったお客様のところに今年のプランをご提案して、また利用していただけるようお願いしに行く形が多い。まちの駅や道の駅に宴会プランのリーフレットを置かせていただいている。季節ごとにプランも変わるので、その都度また新しいものを置かせてもらえるようお願いに行くような形にしている。

質問 11 今後の方針や課題はありますか？

オリジナルの温泉まんじゅうがないので、ここでしか買えないおみやげを作りたいと検討している。温泉まんじゅうの需要は今もあり、利用者が知り合いの人におみやげとして配った場合、宣伝効果にもなると思う。

6-4-3【ヒアリングからの考察】地域密着型で女性のニーズに合わせたこだわり

今回丸山さんからお話を伺い、「喜芳」が何故女性、特に中高年の方々やファミリー層に人気がある温泉施設なのか、いろいろ納得するものがあった。バリエーション豊かな温泉も魅力だが、素材選びからこだわった食事や、すぐに帰りたくないと思ってしまうような綺麗で充実した設備が整っていることが最大の強みだと思う。日帰り温泉と宿泊施設が分かれているため、物音などをあまり気にせずゆっくりできる点も良い。

また、アンケートから意見を多く取り入れているようなので、利用者の意見が反映されやすい温泉施設だと感じた。すべての利用者のニーズに応えることは難しいが、「喜芳」の大まかな経営方針は変えずに、アンケートで多い意見で改善できることから取り入れて行けば、現在のような利用者を維持し続けることが出来るのではないだろうか。

料金設定が他の長岡市内の温泉施設より高いと感じるが、料金を下げないというこだわりがあるからこそ、マナーや質の良いお客さんを呼び込むことに成功しているようだ。

喜芳の前の支配人の方が、割引は一切しないという信念があるくらい料金設定を厳格にしているようだ。あの館内で学生向けにカップラーメンの自販機などを置いてしまうと、ちょっと残念な感じになってしまう気がするので、そこは路線を外さずにいて欲しい。

男子学生は温泉だけに入ることが出来れば良いと言うが、女子学生は多少料金を払ってもゆっくりと食事やくつろぐことが出来る温泉施設を利用したいと思う傾向がある。ゼミや周囲でもいろいろ話したところ、男女でそのような違いがかなりあるとわかった。

個人的には、温泉にリラクゼーションやエステ付きのプランなどがあれば、友人と一緒に利用したいと考えている。そのようなプランがあれば、学生を呼び込むことも可能ではないかと思う。男子学生も呼び込むには、学生カップルを狙うと良いのではないだろうか。

若者向けの宣伝方法では、パンフレットより情報誌や口コミ、SNS が効果的だと思う。宣伝方法や宣伝量を増やすことで認知度アップを図ることだ。場所が分かりづらいことが弱みならば、かわいくてわかりやすいオリジナルマップを作るというのも一つの案である。

今後は日本風の温泉を満喫したい海外のお客さんにスムーズに対応出来るように、外国語を話すことのできる社員の導入や語学の研修制度を取り入れ、英語表記のパンフレットや入浴マナーなどの貼り紙があっても良いような気がした。

6-5 麻生の湯 ヒアリング概要

日 時：平成 27 年 11 月 19 日 10 時 30 分～11 時 30 分

対応者：麻生の湯 支配人 小林 和彦 様

参加者：4 年 井口 美咲、3 年 丸山 貴樹

教 員：山川 智子

6-5-1 麻生の湯の概要とヒアリングの目的

「麻生の湯」は、麻生田町の高台に位置する温泉施設だ。塩分が強くよく温まる泉質が特徴である。露天風呂や休憩所からは長岡市内の田園風景を見渡することができる。本学や長岡駅からのアクセスも良く、火曜日と水曜日は無料シャトルバスも運行している。私たちが本学の学生を対象に行ったアンケートでも、学生の認知度や利用者も多かった。24 時まで営業しており、タオルセットも付いているため、仕事帰りに気軽に立ち寄れるところも魅力の 1 つだ。友人や 1 人でも行きやすく親しみやすい雰囲気温泉施設だと思う。

麻生の湯をヒアリングした目的は、私たちが本学の学生を対象に行ったアンケートで、認知度や利用率が高かったため、利用しやすい雰囲気の秘訣やどこに学生が惹かれる魅力があるのか知りたいと思ったからである。



(左) 写真 18

露天風呂からの眺め

(右) 写真 19

内湯の風景

* 写真はいずれも公式サイトから引用した。

6-5-2 ヒアリング内容【質疑応答内容】

質問 1 対象にしているお客様を教えてください。

赤ちゃんからお年寄りまで客層は幅広く、特に年齢層は絞っていない。さまざまなお客様に来て欲しいと願っている。24 時まで営業していることや、夜間になると料金が下がるため、仕事帰りに立ち寄るお客さんも多いように感じる。

質問 2 対象にしているお客様の地域を教えてください。

長岡市内のお客さんが大半だが、休日には新潟県外からのお客様もいらっしゃる。主に川東地域の方が多いと思うが、長岡駅からシャトルバスが運行しているのもあり、駅周辺の方も結構来られている。バス利用者には常連の方も多くて、信頼関係も築かれている。

質問 3 麻生の湯の強みやアピールポイントを教えてください。

温泉こそが一番の強みだ。冬の露天風呂は温度が下がりやすく寒いが、塩分の多い泉質

のため、よく温まるので長く入る方も多い。露天風呂からの眺めもよく、温泉情報誌にも大きく写真が掲載されている。営業時間が長く、夜遅くまで滞在できる点も強みである。

質問 4 どのような方法で宣伝していますか？

長岡市内のホテルや観光案内所など 3~4 か所には、パンフレットを置かせていただいている。あまりこちらからは宣伝はしていない。温泉の情報誌などの取材も受けている。

質問 5 困っていることはありますか？

お年寄りの方は体が器用に動かすことが難しく、冬場は倒れる方がいるので浴槽での事故などが心配だ。さらに、盗撮などの対策はセンサーを外に設置して、不審な人がいた場合はすぐわかるようにしている。身体障害のある方が 1 人で来られた場合、貸し切り風呂がなく周りのお客様も気を使うので、出来れば付き添いの方と一緒に来て欲しい。

質問 6 料理のこだわりはありますか？

開業当時はまだノウハウがなかったので、すぐに出せる料理を提供していた。冷凍食品が多くなってしまい、お客様から手作り感のあるものが食べたいという意見をいただいた。そこで現在は手作りのお料理を提供し、ここでしか食べられないメニューも提供するようにしている。野菜は一部手づくりし、ごはんも季節によって変えるなどこだわっている。常に健康を考えたメニューを提供している。

質問 7 掃除はどのくらいの頻度で行っていますか。

露天風呂は毎日水抜きをしている。内風呂は 1 週間に 1 回水抜きをして清掃している。2 週間に 1 回で良いようだが、麻生の湯では 1 週間に 1 回水抜きをしているため、衛生面の配慮は十分されている。塩分が強いため、さびやすい面もある。利用者の邪魔にならないように気をつけながら、浴室や脱衣所の清掃はこまめに行っている。

質問 8 小林さんご自身の主なお仕事を教えてください。

館内の不具合があった場合の対応や、人手が足りない時にかけつけるなど全体の経営管理をしている。アルバイトの子への指導やお客様からの指摘や意見もよく聞くようにしている。なるべくプラスな考えかたでやっていかないと上手くゆかないことが多い。

質問 9 今後の方針を教えてください。

今後は、さらにゆったりできる施設づくりのために増設を考えている。現在の休憩所でも狭い気はしないが、ロコミを見てもっと広くして欲しいという意見もあるようだ。

6-5-3【ヒアリングからの考察】今後の麻生の湯の経営戦略への提言など

「近年の日帰り温泉は減少傾向で、生き残りをかけ、それぞれの施設で試行錯誤しながら経営をしている。独自の色を出していかないと生き残ることは難しい現状だ。」これは、

小林さんのお言葉で印象に特に印象に残ったものだ。小林さんご自身が北海道の温泉に行った時に、維持管理の大変さをさらに実感されたという。麻生の湯も開業当時はノウハウがなく、お客さんがどのくらい入るか予想が出来なかったそうだ。他の温泉施設なども参考にしながら、試行錯誤を重ねて現在の「麻生の湯」に至ったと伺った。時には苦情などもあったようだが、真摯に受け止めて営業を続けてきた。

経営戦略の1つとして、このポイントカードは無制限で使えるため、リピーターを獲得しやすいと思った。ポイントが貯まると入浴無料になるのも嬉しいが、景品を選べるようにしたらどうかと考えた。例えば、女性であれば化粧水などアメニティを景品とし、小さい子連れの親子であれば子供向けのおもちゃを景品にするなど、利用者に特典の選択肢を与えることでリピーターの客層も変化するのではないだろうか。

また、他の温泉施設にはあまりいない「麻生の湯」のマスコットキャラクターがいるため、そのキャラクターを活用し「あそうちゃーりーくん」を商品化し、売店で販売する、またはポイントカードが貯まったら景品としてプレゼントするのも良いのではないかと思う。せっかくかわいいかえるのキャラクターがいるのに、もっと活用しないともったいない気がした。ホームページには載っているが、パンフレットにも載せてはいかがだろうか。

また、今後は高齢化していく上で温泉業界はどうなっていくか予想ができないと小林さんはおっしゃっていた。そのため、バリアフリーの強化は欠かせないと思った。段差をなくすことや、浴槽の手すりを増やすなど安全面でも配慮をする必要がある。

小林さんも、今後は施設の増設も行っていきたいとおっしゃっていたので、休憩室と食事処を分け、リラクゼーションスペースの拡大をするとさらに快適な施設になるのではないかと感じた。しかし、施設の増設は費用もかなりかかるため、現在の有料貸切個室を週1日だけ無料開放するのはいかがだろうか。口コミを見ると、休憩所が狭いという意見があった。昼間に利用した時は混んでおらず狭くは感じなかったが、夕方など混雑時はもう少しスペースが欲しいという意見が多いようだ。また、受付が1つしかなく、混雑時は列が出来て、お客さんを待たせてしまうため、受付を2つにして混雑回避をすることも効率がよいのではないだろうか。

麻生の湯は、日帰り温泉としてかなり成功しているようなので、宿泊施設の増設よりも身近な地元のお客さんを大切にしつつ、リピーターを増やす方針が成功の鍵ではないかと思った。大きな改革より今あるものをより使いやすく改良していくという考え方で経営していくと良いだろう。今後も客層を選ばず様々な人に愛される温泉であって欲しい。

6-6 桂温泉 ヒアリング概要

日 時：平成 27 年 12 月 1 日（水）13 時 00 分～15 時 00 分

対応者：桂温泉専務取締役 奥山 錦一 様

参加者：4 年 釣巻 貴弥、井口 美咲

教 員：山川 智子

6-6-1 桂温泉の概要とヒアリングの目的

桂温泉は、長岡駅から車で 20 分ほどのところにある。長岡市と見附市との境界に近い日帰り入浴施設である。日中から多くの車が停まっていて、たくさんのお客さんで賑わっていた。

館内は清潔で、大広間と浴場だけのシンプルな構造であった。利用者同士が仲良く話し込んでいるのが見受けられた。地域の人たちにもお湯の評判は良いよう

だ。あまり目立った宣伝はしていないが、隠れた名湯として温泉好きな人たちには定評のある温泉のようだ。ヒアリングの目的は、ホームページはなく宣伝をあまりしていないのに、なぜ多くの利用者が集まるのか。施設を利用し高齢者の方が多いように見受けられたが、実際の利用者の年齢層はどうかをお伺いすることであった。



写真 20 桂温泉の駐車場風景

6-6-2 ヒアリング内容【質疑応答内容】

質問 1 主な利用者はどのような方たちですか？

全ての年代の人を対象にしているのだが、周辺地域に住んでいる方々は高齢の人が多く。利用するお客さんの年代層は必然的に高くなる。地域の人がほとんどというわけではなく、新潟県外から訪れる人や、さらには外国人の人も多く利用している。しかも、施設の周りには学校も多くあり若い人の利用者も増えている。

質問 2 お客様に来てもらうためにどのような工夫、サービスを行っていますか？

施設が何かをやるというよりも、利用者が自身のブログを通じて施設の情報を発信しているようだ。それを閲覧している別の人が訪れるといった具合に、利用者の口コミによりどんどん施設の情報が発信されていると思う。施設側としては、あまり宣伝をしないが、無料で掲載できるガイドブックには情報を載せている。パンフレットは長岡駅の「情報てんこもり」という情報ステーションと施設のフロントにしか置いていないはずだ。

質問 3 地域の人たちに対し、施設がどのような役割を果たしていると思いますか？

利用者には近く地域の人たちの方が多く、この施設を訪れて知り合いができたということをししばしば耳にする。このことから地域の人たちのコミュニケーションの場になっているのではないかと思う。ただ、利用者同士のいざこざに等については、施設側としては何ともしようがないこともある。

質問 4 桂温泉の強みやアピールポイント、おすすめのポイントは何ですか。

強みは他の施設と比べて自噴量が豊富なところである。ボーリングをした際、温泉の水脈に当たり、以後枯れることなく湧き続けている。また源泉から直接お湯を供給しており、加温などが不要。利用者からは「よく温まる温泉」と大変評判が良い。露天風呂は庭のような落ち着いた雰囲気でありおすすめしたい。

質問 5 なぜカエルの置物が置いてあるのですか？

カエルの置物は縁起物だ。水物であり縁起が良く「無事カエル」「向カエル」「またカエル」などのように洒落が入っている。お客さんが常に安全に行き帰りできるようにと願いを込めてフロントに置いている。



写真 21 カエルの置物

質問 6 なぜ駐車場は舗装しないのですか？

駐車場の下に温泉の配管があり、舗装してしまうと夏場は配管から熱が逃げなくなってしまう。敢えて駐車場を砂利のままにして、温度調整がしやすいようにしている。駐車場にラインを引かないのは、お客さんに自由に停めてほしいからである。お客さん同士で停め方の配慮はしっかりしており、駐車のマナーは良い。

質問 7 やりがいや大変だったことはありますか。

苦勞するのは、混む時間が予想できないことである。お客さんの数を変化させる要因としては、天気や気温、時間なども関係しているようだ。また施設の周りが田んぼのため、田植えや稲刈りの時期も要因となる。高齢者の方が自動車で来ることが多いので、雨や雪等で路面状況が悪化すると、「運転するのが怖い」という理由でお客さんは激減する。唯一、日曜日夕方は安定してお客さんが来ているようだ。最近、看板を県道に建てることができなくなった。自分の土地に建てるのはよいが、予算の都合上厳しい。立地が少し悪いため施設がわかりづらいため少し困っている。

6-6-3 【ヒアリングからの考察】桂温泉の果たす役割と独自の宣伝効果

奥山錦一さんからお話を伺って、改めて「桂温泉」は交流の場の役割を果たしていると感じた。「桂温泉」で知り合いそのまま友人になったというのはいい話だ。友達の顔を見に行こうという感覚で施設を利用する人もいるのだろう。筆者が居合わせた利用者に直接お話を伺ったら「桂温泉には1日おきに通っている。この温泉に入ると体の調子が良い。

ぜひ家族にも紹介してくれ。」とのことだった。地域の人たちの元気の源とも言える。

当初、桂温泉は温泉旅館だったようだ。旅館を運営するには開業費に加え、従業員が0人でも50万円以上固定費がかかるし、消耗品や温泉のメンテナンスや修繕費など多額のコストが必要なのだそうだ。そこで、日帰り入浴施設に路線を変更したという。ちなみに、損益分岐点の数値をだすためだけでも年間600~800人を入れなければならないと伺った。経営を取り巻く環境はさらに厳しいものになっているようだ

それにしても、桂温泉の集客方法は独特であった。周りの施設はパンフレットやホームページを積極的に作成し、施設をアピールしている。桂温泉にはパンフレットはあるが、ホームページがない。パンフレットはお客さんが帰り際にもっていく程度で、人目に付く場所にはほとんど置いていない。つまり、桂温泉は宣伝をほとんどしていないのである。宣伝をあまりしないのは、人混みをあまり好まない常連客が多いからだというのだ。

お客さんの口コミによるものと、お客さん自らのブログ等で施設の情報を発信しているものが主な宣伝となるのだ。ブログを閲覧し桂温泉を訪れたお客さんからの口コミで他の人にも施設の情報がどんどん広がっていると考えられる。加えて、インターネットが誰でも簡単に使え、情報が入手・発信しやすくなったこともある。利用者による口コミと良好な泉質が、他の施設と差別化を図っている要因ではないだろうか。

桂温泉は施設側と利用者側の間で相互協力の関係が特に強いと思われる。桂温泉にとって利用者の方々は大切なお客さんであり、口コミやブログなどで施設の情報を発信してくれる大事な存在でもある。利用客にとっては、桂温泉は居心地のよい日帰り入浴施設かつ大切な交流の場という側面もある。この持ちつ持たれつの関係こそ桂温泉の最大の特徴だ。

ところで、桂温泉ではオレンジ色のタオルを販売している。長岡市や周辺地域の温泉や入浴施設のタオルにしては珍しい鮮やかな色で、とてもインパクトがある。このタオルを使っているお客さんも多い。当ゼミの紹介パネル用の写真撮影でも際立つアイテムとして活用させていただいた。タオルの色は、試行錯誤を繰り返し、今のオレンジ色で10色目だそうだ。身近な人へのちょっとしたお土産にするのも良いかもしれない。初めて見る人に強烈なインパクトを与えるのは間違いないだろう。受付にて1枚250円で販売している。



← いいゆられ〜とある鮮やかなタオル

7 長岡大学の学生と日帰り温泉の利用状況についてのアンケート調査

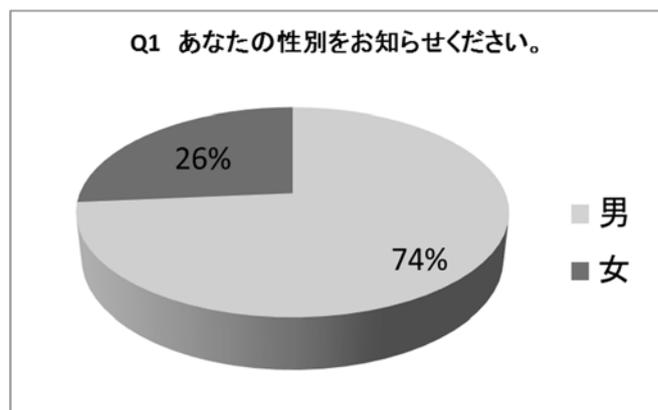
7-1-1 アンケート調査の目的

長岡市内の温泉・入浴施設の調査を行うにつれ、長岡大学の学生が、どのくらい長岡市内にある温泉・入浴施設を知っているのか、実際に利用したことがあるのか、また興味や関心はあるのか、温泉・入浴施設について求めているものはあるのか等、学生の声を知るためにアンケートを実施した。

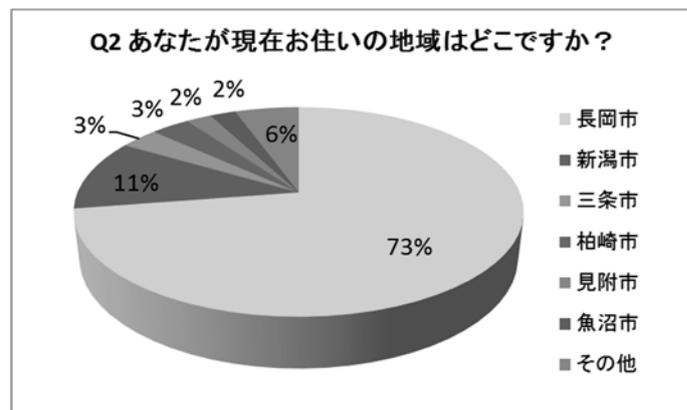
7-1-2 アンケート調査の方法・対象・実施日

長岡大学に在学する2年生と3年生の計91人を調査対象としてアンケートを行った。調査は2015年11月26日の木曜日に手渡し留置き調査で実施した。長岡大学の原田誠司先生と就職相談室職員の皆様に協力を得て、「キャリア開発Ⅱ」の時間で2年生、休み時間に3年生にアンケート用紙を配布して記入してもらった。アンケート記入後は、ゼミ学生がアンケート用紙を回収する流れで実施した。

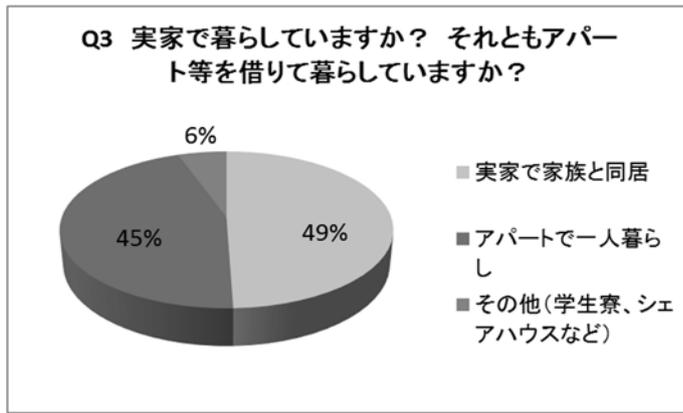
7-2 アンケート項目への回答結果



Q1 あなたの性別を教えてください。
「男」と答えた学生が67人で74%、「女」と答えた学生が24人で26%である。長岡大学は女子学生より男子学生が多いため、アンケート結果も男子学生の解答が高い割合を占めるのは、ある意味当然だ。このアンケートはどちらかと言うと男子学生の視点や意識、生活の傾向を大きく反映したと言える。



Q2 あなたが現在お住いの地域はどこですか？
最多は「長岡市」が66人で73%だった、次いで「新潟市」が10人で11%だった。さらに「三条市」「柏崎市」と答えた学生が各3人で3%、「見附市」「魚沼市」と答えた学生が各2人で2%、「その他」が5人で6%となった。

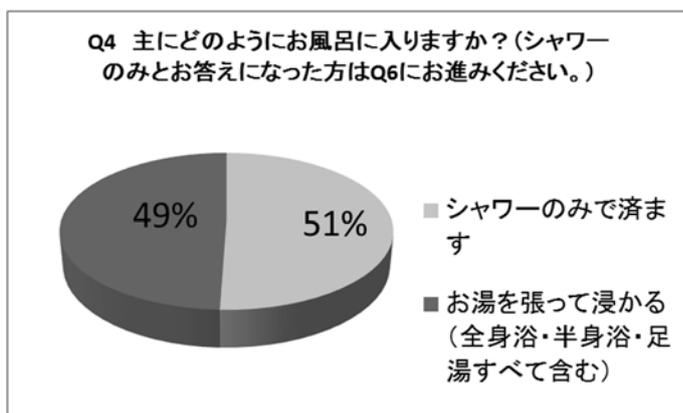


Q3 実家で暮らしていますか？ それともアパート等を借りて暮らしていますか？

「実家で家族と同居」と答えた学生が 45 人で 49%、「アパートで一人暮らし」と答えた学生が 41 人で 45%、「その他(学生寮、シェアハウスなど)」が 5 人で 6%となった。

回答した学生の約半分は、実家暮らし

ということが分かった。実家暮らしか一人暮らしかは次の Q4 の「お風呂にお湯を張って入浴するか、シャワーのみで済ませるか」という質問にも関わってくる。実家暮らしの学生の方がお風呂でお湯に浸かる機会が多く、一人暮らしになるとシャワーで済ませる傾向があると思われる。一人暮らしの学生が入浴方法としてシャワーだけで済ませる理由として考えられることは、お風呂に浸かることが面倒くさい、湯船にお湯を張る水道代や光熱費が勿体なく節約したいなどが考えられる。

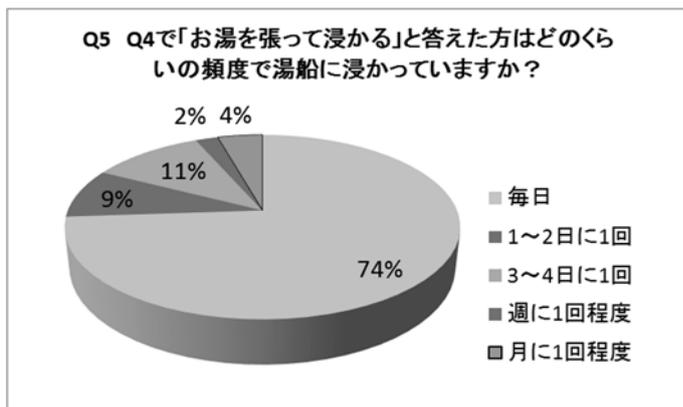


Q4 主にどのようにお風呂に入りますか？(シャワーのみとお答えになった方は Q6 にお進みください。)

「シャワーのみで済ます」と答えた学生が 46 人で 51%、「お湯を張って浸かる(全身浴・半身浴・足湯すべて含む)」と答えた学生が 45 人で 49%となった。

シャワーのみで済ます学生とお風呂

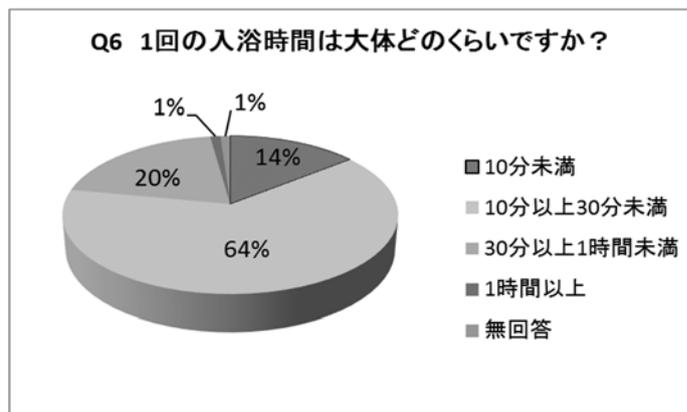
に浸かる学生の割合が半々である。実家暮らしではお風呂にお湯を張って浸かることが習慣となっていることが多い。一人暮らしだと、1 回の入浴にかかる水道代がシャワーだけで済ます方が節約できる。Q3 での「実家で家族と同居」と Q4 の「お湯を張って浸かる」の解答がどちらも 45 人となっていることからシャワーで済ます人が一人暮らしの学生には多いと考えられる。お風呂の残り湯を洗濯に利用している学生も中にはいるだろう。



Q5 Q4で「お湯を張って浸かる」と答えた方はどのくらいの頻度で湯船に浸かっていますか？

「毎日」が最多の 34 人で 74%、「1~2日に1回」が 4 人で 9%、「3~4日に1回」が 5 人で 11%、「週に1回程度」が 1 人で 2%、「月に1回程度」が 2 人で 4%となった。

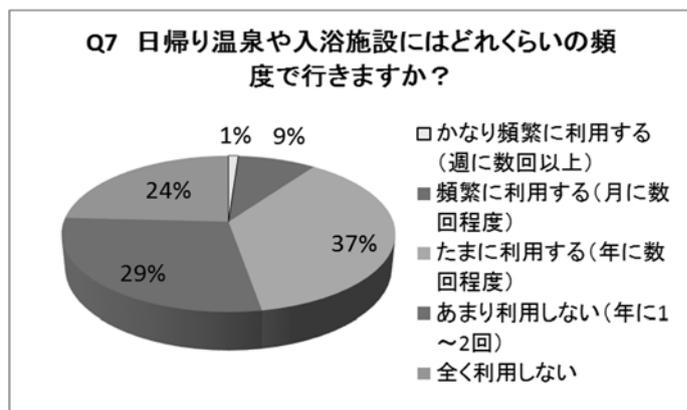
「お湯を張って浸かる」と答えた学生の7割が毎日入浴しているようだ。実家暮らしであってもそれぞれ入浴頻度は異なるようだ。どちらかと言うと若い世代は、湯船に漬かるよりもシャワーで簡単に済ませる傾向もあるかも知れない。毎日入浴するのは面倒くさいと思っている学生もいるようだ。今回のアンケート時期が11月下旬ということもあり、夏場よりもお湯に浸かる学生も多かったことも考えられる。季節も入浴方法に影響する。



Q6 1回の入浴時間は大体どのくらいですか？

「10分未満」が13人で14%、「10分以上30分未満」が58人で64%、だった。「30分以上1時間未満」とが18人で20%、「1時間以上」と答えたのはたった1人で1%、無回答は1人であった。

最多の回答が「10分以上30分未満」、次いで「30分以上1時間未満」より、長岡大学の学生の入浴時間の長さは概ね30分前後に集中した。長岡大学の学生に限らず一般的な入浴時間の平均も大体30分前後ではないか。また、「10分未満」と答えた方が16%と、シャワーで簡単に済ませていると推測される。男性と女性では入浴時間は変わってくる。男性はカラスの行水のような向きも多いが、女性は長い時間お湯に浸かっているイメージがある。ちなみに筆者は、よくお風呂で寝てしまう。起きた頃には1時間経ってしまっていることもある。入浴しながら他のことをしている方は、入浴時間が長くなると思われる。

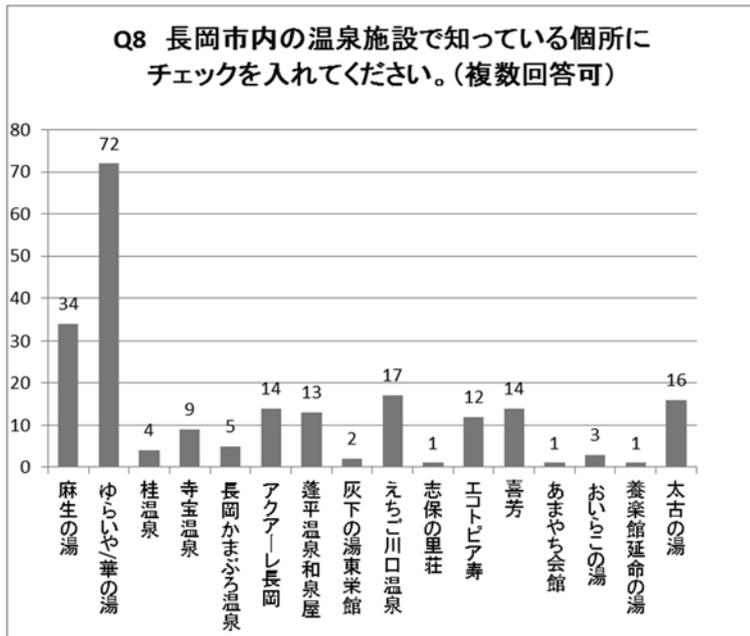


Q7 日帰り温泉や入浴施設にはどれくらいの頻度で行きますか？

「かなり頻繁に利用する」が1人で1%、「頻繁に利用する」が8人で9%、「たまに利用する」が34人で37%、「あまり利用しない」が26人で29%、「全く利用しない」が22人で24%となった。

最多の回答が「たまに利用する」で37%だった。「あまり利用しない」と「まったく利用しない」という回答がどちらも20%以上で、これら2つの回答で全体の半分以上を占めている。「かなり頻繁に利用する」「頻繁に利用する」という回答が2項目合わせて全体の1割の割合程度で、「たまに利用する」が回答としては一番多かったものの全体として見ると、長岡大学の学生で日帰り温泉や入浴施設を利用する学生は少ないと言えよう。

アンケートの結果から、実家暮らしの学生のほとんどがお風呂に浸かり、一人暮らしや学生寮で暮らしている学生のほとんどがシャワーだけで済ませる傾向が見えてきた。

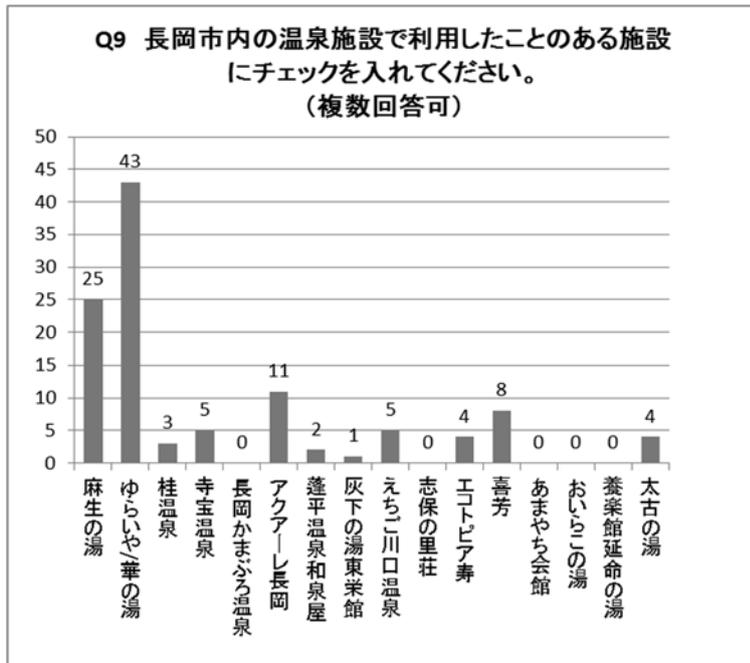


Q8 長岡市内の温泉施設で知っている個所にチェックを入れてください。(複数回答可)

最多の回答が「ゆらいや/華の湯」で 72 人、次いで「麻生の湯」が 34 人、「えちご川口温泉」が 17 人、「太古の湯」が 16 人、「アクアーレ長岡」、「喜芳」がそれぞれ 14 人、「よもぎひら温泉和泉屋」が 13 人、「エコトピア寿」が 12 人、「寺宝温泉」は 9 人だった。

一番よく知られていた温泉施設が「ゆらいや」で、91 人の学生の

うち 72 人が知っていた。次に多かったのが「麻生の湯」で 34 人だった。この 2 箇所の共通点は 3 点あって、Q9 の方にまとめた。「えちご川口温泉」や「アクアーレ長岡」など研修で利用される施設や、宿泊ができる施設も多くの学生が知っているようだ。CM や看板を見かけることが多い施設、公式のホームページが開設されている施設、ホームページ内にブログが開設されている施設は、比較的よく知られているようである。

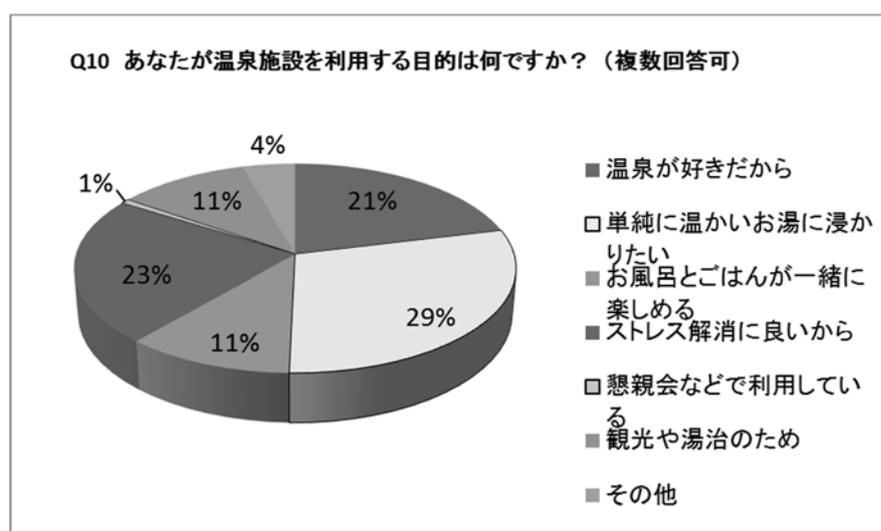


Q9 長岡市内の温泉施設で利用したことのある施設にチェックを入れてください。(複数回答可)

最多の回答が「ゆらいや/華の湯」で 43 人、「麻生の湯」が 25 人、「アクアーレ長岡」が 11 人、「喜芳」が 8 人である。「寺宝温泉」と「えちご川口温泉」が 5 人、「エコトピア寿」と「太古の湯」が 4 人だった。「桂温泉」が 3 人、「よもぎひら温泉和泉屋」が 2 人、「灰下の湯東栄館」が 1 人だった。

こちらの質問でも、「ゆらいや」と「麻生の湯」の 2 つの利用が多かった。この 2 箇所の施設に共通する点としては、長岡大学から近く、車で 10 分もあれば行くことができるという点、深夜 12 時まで営業を行っている点、食事処があって入浴と一緒に食事を楽しめる点など挙げられる。夜遅くまで営業していると、遊びに行った帰りなどに利用できる。食事が一緒に済ませられることで、

勉強の息抜きとして、食事と入浴に行く学生もいるのではないだろうか。「アクアレー長岡」、「えちご川口温泉」、「エコトピア寿」は、プールも利用できることから、小さい頃に利用したことがある学生も多そうだ。実際に「エコトピア寿」で入浴をした際、「ここはプールもあるから子供を連れてくると遊ばせることができるので、遠くまで出かけなくてもいい」と言っているお客さんがいた。プールが併設されている施設は入浴だけでなく利用の幅が広がるため、その分たくさんの人に利用されていると考えられる。



Q10 あなたが温泉施設を利用する目的は何ですか？（複数回答可）

「温泉が好きだから」と答えた学生が 29 人、「単純に温かいお湯に浸かりたい」と答えた学生が 40 人、「ストレス解消に良いから」と答えた学生が 31 人でそれぞれ 20% 以上を

占めている。「お風呂とごはんが一緒に楽しめる」と「観光や湯治のため」と答えた学生がそれぞれ 15 人で 11%、「懇親会などで利用している」と答えた学生が 1 人で 1%、「その他」が 6 人で 4% となった。全体的に回答が散らばり、それぞれのライフスタイルに合わせて温泉を楽しんでいることが分かる。

この質問は複数回答が多数あった。主に「温泉が好きだから」、「単純に温かいお湯に浸かりたい」、「ストレス解消に良いから」3つの回答が集中した。長岡大学の学生の温泉施設の利用状況の傾向としては、趣味や娯楽としての入浴や、気分転換やリフレッシュ目的としての利用が多いようだ。続いて多かったのは「お風呂とご飯と一緒に楽しめる」、「観光や湯治のため」であった。スキーやスノーボードといったレジャースポーツ後に温泉で疲れた体を癒すなど、観光とセットで温泉を楽しむケースは人気である。施設の食事処のメニューがおいしいから利用するといった楽しみ方も考えられる。筆者は、「麻生の湯」のから揚げを先生から勧められたのだが、あまりに美味しすぎて他のお店から揚げが物足りなくなってしまうくらい気に入っている。また「麻生の湯」に行った際は、必ず食べたいと思っている。このように温泉や入浴施設には沢山の楽しみ方があり、その中で自分の利用目的に合った楽しみ方を味わうのが一番である。

Q11 これまでに行ったことがある長岡市内または周辺地域の入浴施設で印象に残っている場所や、こんな温泉施設があったらいいなと思うものや、このくらいの値段だったら入りに行きたいといったご要望・ご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。

フリーコメント欄をアンケートの最後に設けた。多く集まった意見としては「500円以下の安い金額なら行きたい。」「ワンコインで入浴したい。」といった声が目立った。学生は温泉施設や入浴施設のサービス内容よりも、料金に左右されやすいのではないのだろうか。その他では「タオルセットを無料で貸し出してほしい」などの声もあった。これらの意見からは、準備をせずに気軽に温泉や入浴施設へ行きたいという気持ちや、比較的手頃な価格で入浴したいといった気持ちが感じ取れた。

7-3 学生アンケートからの考察

長岡大学の学生は、温泉や入浴施設などを頻繁に利用する学生は少ないことがわかった。温泉や入浴施設を利用する学生の特徴としては、大学からあまり離れていない近場の施設、夜遅くまで営業をしている施設、食事処が併設されている施設が多く利用される傾向があった。またフリーコメント欄にあったように、安い料金で入浴したいというコメントが多かったことから、学生にとっての料金は温泉・入浴施設を利用する上で重要なポイントとなっているのだと思う。

長岡大学の「N-MIND」によると、人にもよるが、長岡大学学生の1カ月の生活費は、実家暮らしの学生で35,000円前後、一人暮らしの学生では80,000円前後となっている。学生にとって温泉・入浴施設の利用料金はシビアな問題である。学生から多く利用されている施設も、天然温泉より入浴施設の利用が多かったのは、泉質へのこだわりより施設の近さや、アクセスのしやすさ料金の安さ、営業時間の長さなどが影響していると思われる。

気軽に利用できる入浴施設の方が学生は行きやすいのだ。趣味や娯楽として温泉施設や入浴施設を利用する学生も多いことがわかった。「ゆらいや」や「麻生の湯」の学生からの利用が多いことに改めて納得した。

長岡大学の学生の傾向として、先輩や友達が温泉や入浴施設に連れて行ってくれることで、施設を知るきっかけとなっていることが分かった。その後、さらにまた学内の別の友達や後輩と、その温泉や入浴施設に行くことにより学校内での施設の知名度が上がっている。このことから先輩や友達に温泉や入浴施設に連れて行ってもらう普通の遊びなどが、温泉や入浴施設の知るきっかけとなり、知名度に影響していることもわかった。

インターネットやパンフレットから施設を知るというより、実際に施設を利用することで施設を知っていくようである。何かきっかけがないと温泉や入浴施設を利用しない、高いお金を払ってまで温泉に入ろうと思わない、温泉の質やサービスより利用のしやすさなどで施設を選ぶという点から、温泉に対する関心をあまり感じられない学生が多いことがわかったのは少々残念である。

今回のアンケートから感じ取られる学生の温泉・入浴施設への関心や利用を向上させるために、今後のゼミの展開として温泉・入浴施設に関心がない学生が興味を持つきっかけとなるような活動をしていきたいと思っている。

8. 長岡市内の温泉・入浴施設の食事やサービスの比較

8-1 長岡の温泉・入浴施設の食事やサービスを調査したきっかけ

長岡市内の温泉・入浴施設で実際に食事をしたら、予想以上においしくてびっくりした。普通のレストランや食事処にも負けていない料理だと思い、その美味しさがあまり広まっていないことを残念に思った。その魅力を地元の利用者だけでなく、観光客にも伝えることができれば、長岡市内の温泉・入浴施設の活性化にも繋がるのではないだろうか。

8-2. 「麻生の湯」と「ゆらいや」の食事やサービスの比較検討

私たちが本学の学生を対象に行ったアンケートでは「ゆらいや」の認知度と利用率が一番高かった。しかし、「麻生の湯」の方が本学からアクセスが良いため、「麻生の湯」の学生認知度や利用者が多くてもよいのではないかと感じた。「ゆらいや」には学生を惹きつける魅力があるのではないかと思い、「麻生の湯」と食事メニューやサービスの比較を行った。

8-2-1 「麻生の湯」と「ゆらいや」の食事メニュー比較

「麻生の湯」と「ゆらいや」の食事メニューの価格を比較した。入浴料金でも、「麻生の湯」は「ゆらいや」より50円～150円高い料金設定になっている。「ゆらいや」は会員になるとさらに安い料金で食べることが出来る。その料金の差は130円～230円と大きく差が出る。このくらい差があるとジュースやデザートを頼むことが出来る。

「麻生の湯」は「ゆらいや」より価格設定は高いが、からあげ定食はたれから漬け込むなどこだわりを持ったメニューが多い。そのため、「ゆらいや」より高くなるのだと考える。

料金が安いというメリットも大事だが、味に対する利用者の満足度は高いのだろうか。

表「麻生の湯」と「ゆらいや」類似するメニューの価格比較（一部）

麻生の湯	価格	ゆらいや	会員価格	一般価格
からあげ定食	950 円	とんかつ定食	<u>720 円</u>	800 円
特製牛スジカツカレー	880 円	カツカレー（スープ付き）	<u>750 円</u>	830 円
麻生風みそカツ丼	880 円	かつ丼 （味噌汁お新香付き）	<u>680 円</u>	750 円



写真 22 麻生の湯 からあげ定食

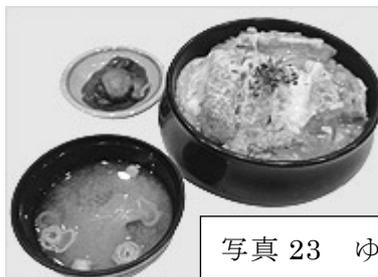


写真 23 ゆらいや かつ丼

8-2.2 「麻生の湯」と「ゆらいや」その他のサービス比較

サービスの比較として、2つの施設の接客や清掃状態を考えてみた。「麻生の湯」では、受付の方に笑顔で対応してもらい、とてもいい感じだった。食事を頼んでからメニューが来るまでの待ち時間はあまり長くなく、割とスムーズに来た覚えがある。清掃面では露天風呂は毎日水抜きをし、内湯も本来2週間に一度水抜きをすれば良いものを1週間に一度水抜きをして清掃しているようだ。利用した時も女性スタッフの方が定期的に巡回し清掃していたので、浴室や脱衣所の清掃はかなり清潔に保たれているようだ。

「ゆらいや」は、食券を買い、番号が呼ばれたら取りに行く形式だ。従業員の負担を減らし回転率を上げているようだが、利用者の元まで届ける形式の方が行き届いたサービスだと言える。浴槽の数が多く清掃の手間がかかりそうだが、気になる点はあまりなかった。

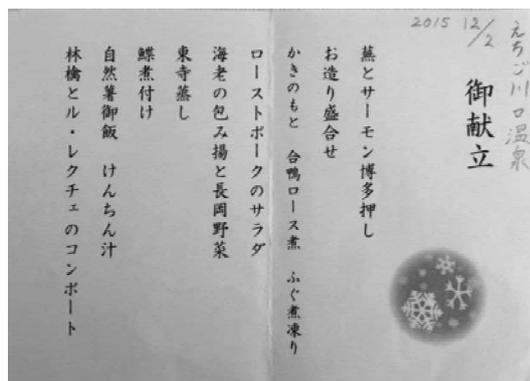
このように、接客や清掃面のサービスは「麻生の湯」も「ゆらいや」もあまり差はなく、清掃は定期的にチェックを行い、程よい距離感で利用者に気を使わせない接客をしていることが分かった。

8-3 「えちご川口温泉 ホテルサンローラ」と「喜芳」の会食プラン比較

「えちご川口温泉」と「喜芳」は地元の利用者が多いという共通点がある。よく日帰りプランなどで食事と入浴がセットになっているのを見かけるが、地元の人たちもちょっとしたお祝いや節目などにそうしたプランを利用すると思う。そこで、宿泊と日帰りとの差異はあるが、会食用のメニューや価格設定の実際を体験してみた。

写真 24 平成 27 年 12 月 2 日の夕食

ホテル・サンローラのお品書き



「えちご川口温泉 ホテルサンローラ」1泊2日プランは12品で、「喜芳」のお祝い会食プランは、料理10品+食事+デザート、そしてホールケーキが付き、計13品だ。品目数としては同等と言える。品目数にあまり違いはないが、「喜芳」のメニューはゼミの男子にはちょうど良く、私は多いと感じる量であった。

「えちご川口温泉 ホテルサンローラ」のメニューは明らかにゼミの男子は物足りなく、私はちょうど良いと思う量であった。

一般に長岡市などで飲み会に参加すると、料理は8品～9品、2時間～3時間飲み放題つきで3000円～5000円というのが相場らしい。学生の友人は3000円代までで、社会人の友人は5000円ぐらいが一回の飲み会でも良い料金だと言っていた。それ以上は贅沢だと感じる。つまり、温泉施設の宴会・会食プランも3000円～5000円の範囲の金額で入浴料も込みであれば、居酒屋に行くような感覚で若年層も利用しやすいと推測する。

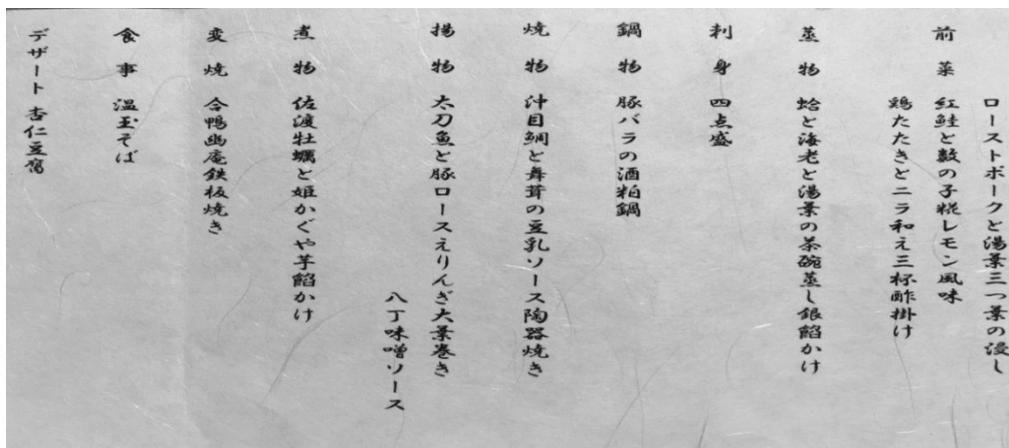
「喜芳」のお祝い会食プランは、子供からお年寄り、老若男女を選ばないプランと言える。そのため、メニュー設定は誰にでも食べやすく満足できるものでなくてはならない。

このお祝い会食プランのサービスの中に「ちゃんちゃんこ貸出致します」という表記があったように、長寿祝いで利用する方もいると考える。そのため、高齢の方の方を考え、減塩メニューにすると安心して食べることが出来る。(以下写真、喜芳の会食プラン)

「えちご川口温泉 ホテルサンローラ」のメニューは全体的に長岡野菜や魚、自然薯ごはんなど低カロリーで胃にも負担がかかりにくいものが多かった。利用者は60代～70代くらいの方が多く、この年齢層の方に合わせ、味付けやメニュー構成をしているのだろう。

宴会プランや会席メニューを食べ、味付けが減塩メニューである場合は、高齢者には喜ばれるが、若年層にとっては物足りなさを感じる人もいる。そこで、メニューを2種類用意し、若年層向けのメニューは肉料理を多めにし、味付けも少し濃くするなどの違いを出すというのではないかと。ゼミの男子は少し物足りないと感じる量だったので、一品だけおかわりできるサービスを設けるといのはいかがだろうか。その一品を利用者に選んでもらうことで、気に入ったメニューを知ることができ、リピート率をチェックすることで、人気メニューを経営者側が自然と把握出来ると考えた。

写真 25 「喜芳」平成 28 年 1 月 5 日に体験したお祝い会食プラン お品書きと料理



太刀魚と豚ロースえりんぎ
大葉巻き八丁味噌ソース



○ローストポークと湯葉三つ葉の
浸し
○紅鮭と数の子糀レモン風味
○鶏たたきとニラ和え三杯酢掛け



合鴨幽庵鉄板焼き

8-4. 長岡市内の温泉・入浴施設の活性化のための提案

食事のメニューやサービス面を改善し、地元の利用者だけでなく、観光客を呼び込み、施設を印象付けるために次のような案を考えた。



それぞれの温泉施設で、長岡の名産品を使った看板メニューを1つ作り、観光客にも何がおすすめか分かりやすくすると良いのではないかと考えた。例えば、長岡野菜を使っているレストランとコラボし、メニュー開発をして販売することで、お互いの店の宣伝効果にもなると思った。そのメニューを食べってもらうために、スタンプラリー形式で行い、各所の温泉を巡ってもらう。温泉と長岡の名産品を使った料理を味わってもらうことができる。

このようなイベントを開催することで、観光客も温泉・入浴施設に来た時に参加ができる。景品が思い出の品になるため、印象にも残りやすいと言える。観光客を呼び込むことも重要だが、その温泉施設での食事やイベントなども記憶に残し、後で思い出してもらうことも大切である。そのような思い出こそがリピート率を上げるのではないかと考える。

このようなイベントは、車がないと難しいため、若年層などをターゲットにし、景品も考えるとより効果的ではないだろうか。若年層の参加者が多ければ、そのイベントをフェイスブックやツイッターなどのSNSで拡散され、情報が広がることも期待できる。

8-5 地域活性化のために必要な協力体制

実際に利用した食事処のメニューは和漢洋やデザート、サブメニューが充実しており、料金も単品が1,000円以下で食べることができるものが多かった。リーズナブルな料金で利用者を惹きつけている施設もあれば、市場から食材を仕入れるなど素材にこだわった料理を提供している施設もあって、本当に施設ごとの方針はそれぞれ異なっている。

宴会や会食プランでは、季節に合わせ旬の山や海の食材どちらも使ったメニューが多かった。長岡市は山と海がどちらもあるため、その良い所を取り入れたのだろう。健康志向の人や高齢者にも食べやすいメニューも多いようだ。しかし、地産地消が少ないと感じた。

長岡市は美味しい食べ物がたくさんあることだが、どれか一つに絞ることが難しいため、料理の方向性がぼやけてしまっているように見える。長岡市内の温泉・入浴施設の食事処のメニューもその傾向が見えた。

受付や料理を運ぶ時などの接客サービスが良い施設と改善点がある施設が明確になった。個人的にサービスの質が高いと思った温泉施設は、出迎えや受付、浴室までの案内など相手の行動の先を読み、どのような利用者にも歓迎の意を表した接客であった。受付の第一印象は次にまた来たいと思わせるかを大きく左右する。過剰なサービスが苦手な利用

者でなければ、大抵の利用者は気分良く過ごすことが出来るだろう。

会食プランや宿泊を体験したことで、日帰り温泉のみで利用した時には気づかなかったサービスの改善点が見えてきた。長岡市の温泉・入浴施設の食事や接客などのサービスを調査し、優れた点もあったが、総合的に見ると長岡の日帰り入浴施設の料理メニューやサービスのレベルはまだまだ伸びを期待できると感じた。

今後、私たちが活動を継続し、前途した提案が実現し、長岡市内の温泉・入浴施設のサービスのレベル向上や評価に繋がり、観光業として発展していくことを願っている。

9. おわりに～長岡市及び周辺地域を取り巻く温泉・入浴施設の情報発信

今年度のゼミ活動では、温泉・入浴施設の現状をまず把握することが主な目的となった。全体的に施設の認知度が低いため、SNSをもっと利用し、全国へ長岡の温泉・入浴施設の魅力を発信する必要があると感じた。

長岡周辺地域の温泉・入浴施設は、地域の人のリピーターが比較的多いことが明らかになった。何度も施設を利用している人たちが顔見知り同士になり、次第にその輪が大きくなっていく流れは貴重である。結果として、長岡の温泉・入浴施設は地元の人たちの交流の場になっているのだ。新潟県の観光地の満足度調査では新潟県は2年連続8割強だが、温泉地・観光地別のリピーター率を見ると、長岡市を訪れる観光客の目線は「蓬平温泉」や「寺泊地域」に向いており、日帰り入浴施設が比較的多くある「長岡地域」や「栃尾地域」には観光客の関心があまりないように思われる。

このことから、「蓬平温泉」や「寺泊地域」は観光客向けの温泉・入浴施設で、「長岡地域」や「栃尾地域」は地域の人たち向けの温泉・入浴施設というような線引きができてしまっているのではないかと気になった。そのためか泉質の良い温泉が多くあるのにも関わらず、観光客の足があまり向かないのが長岡周辺地域の温泉・入浴施設の現状である。

「よもぎひら温泉和泉屋」でのヒアリングでも伺ったが、最近は本当にインターネットからの予約が増えているらしい。今や和泉屋の売り上げの12%はインターネットからによるものだという。さらに意外なのは、中高年や高齢者のインターネット予約が増えているということである。近年スマートフォンが普及し、どこからでも老若男女問わずインターネットが使えるようになったのが要因と思われる。また電話予約だと、自分の伝えたいことが緊張などでうまく伝えられないことが多いらしいのだが、インターネットからの予約だと自分の伝えたいことを文章化することにより正確に伝えてもらえるというのだ。

今後、どの施設でもインターネット予約のお客さんが増加し、お客さんの要望も電話対応より実現しやすくなるのではないかとと思われる。20代未満のSNS利用率が非常に高いことから、長岡の温泉・入浴施設の情報を、SNSを介して伝えることが出来れば、施設の認知度も上がるだろうと思われる。

活動を通じて温泉や入浴施設を調べて情報発信を行うことで、少しでも地方創生や長岡市全体を盛り上げる活性化に寄与することができればと考えている。今後の活動は、今年の実践を踏まえて、長岡の温泉・入浴施設の情報を発信する方法を見つけて欲しいと思う。この活動で、地域活性化に少しでもつながればよいと考える。

豊富な自噴量！湯治に優しく災害にも強い温泉！

純生あわの湯 寺宝温泉

寺宝温泉の外観です

自噴量が豊富であり(最大200L/mh)、シャワーにまで源泉を使用しています。また湯温がぬるめになっていますが、高い保温効果があります。全館がバリアフリーのため高齢者も安心して利用することができます。温泉に塩素や殺菌剤薬品を一切使っていないのも、こだわりの一つです。気泡が身体をやさしく包むのも特徴です。



- ・住所 〒940-2057 長岡市寺宝町82番地
TEL: 0258-29-4126
- ・料金 700円(平日17時以降 600円)
- ・泉質 ナトリウム塩化物泉
(炭酸水素ナトリウムや各種ミネラルイオンが多く含まれ糖尿病の血糖改善に期待ができる)
- ・効能 糖尿病・神経痛・筋肉痛など
- ・湯温 41℃
- ・営業時間 午前7時～午後10時(4～9月)
午前7時～午後9時(10～3月)
- ・宿泊料金(室料) 3,000～5,500円
(休日前などは1,000円増)

お湯が体の悪い活性酸素を対外に排出するため体の内側から良くなっていくようです。そのため医師からの紹介があるほどだそうです。館内にはこの温泉に入って元気になったひとたちからの喜びのコメントがたくさん紹介されています。

学生からの一言



長岡にこれほど良い効能の温泉があるとは知りませんでした。私はどちらかと言うと、身体が温まる熱いお湯の方が好きですが、寺宝温泉は少しぬるめなのに、自然と身体がポカポカしてとても不思議な感じがしました。宿泊した際は、朝風呂も堪能しました。朝ごはんの釜飯はとても美味しかったです！ご馳走さまでした！ (釣巻貴弥)



えちご川口温泉
 ホテルサンローラ



信濃川や魚野川が眺められる高台に位置していて、四季を通して景色を楽しめ、夕日は特におすすめ!! 長岡市、小千谷市、魚沼市などからのアクセスも良好。

【泉質】ナトリウム-塩化物強塩温泉
 (弱アルカリ性高張性高温泉)
 【湯温】54.3℃ 【料金】700円
 【日帰り入浴】10時~21時
 (入館は20時まで。季節により変動)
 【定休日】第1・3・5火曜日



〒949-7503
 長岡市川口中山 2515-4
 <電話> 0258-89-4511
 <FAX> 0258-89-3465
 <アクセス>
 ●道越後川口 IC より車で約 10分
 ●JR 越後川口駅より車で約 5分

川口地域の大切な観光資源として、これからも地域を活性化させる重要な役割を果たす温泉施設です。夏場はプールも楽しめます。



(学生の体験レポート)

長岡市内の温泉の中で一番ではないかと思うほど塩気の強いお湯です。露天風呂が二種類あって、内湯ともに広々として景色も開けているので、素晴らしい解放感でした。ヒアリングでお話を伺った際、長湯をしても手がしわしわにならないのは温泉成分が浸透しているからだを教えていただき、なるほど!と感動しました。温泉・景色・お料理・ホテル・サービスのどこをとっても大満足でした。(井口 美咲)



リピーターも多く、地元の方だけでなく、県外のお客さんもたくさん訪れるようです。今後は、ファミリーやカップル層もターゲットにしていく方針だそうです。

(温泉、料理写真引用) <新潟温泉.com>

<http://onsen.bbshin.net/tyuetsu/echigokawaguti.html>
 <日本全国温泉ツアー旅行グランツーリズム>
<http://www.club-t.com/onsen/niiyata/kawaguchi.htm>
 <楽天トラベル 宿・航空券・ツアー予約>
<http://travel.rakuten.co.jp/HOTEL/19921/19921.html>

よもぎひら温泉和泉屋



長岡の奥座敷

明治2年創業から長年親しまれている老舗温泉宿。長岡市蓬平町の山奥に佇む「長岡の奥座敷」よもぎひら温泉の和泉屋。

<学生からのひとこと> (丸山 貴樹)

浸かっているだけで分かるほどのトロトロツルツルとしたお湯で、独特のぬめりのある泉質が特徴的です。肌がツルツルになると評判です。長岡の大自然と山あいの四季を感じながら日常を忘れゆったりとした時間を過ごせました。迫力のある大きな岩がある露天風呂が特徴的な「月の湯」、岩盤欲ができる「星の湯」や「風の湯」の3つの湯船を男女入れ替えて楽しむことができます。

日帰り立ち寄り湯料金(税込)

- ・大人 1000円
- ・小人 500円

【 泉質・効能 】

- ・泉質 単純硫黄冷鉱泉
- ・効能 神経痛、筋肉痛、関節痛、疲労回復など



日帰りプランもどうぞ!

通常の宿泊の半額以下の値段で食事と入浴ができて、個室も利用できるとてもリーズナブルなプランもあるそうです。きめ細かなおもてなしの心と、満ち足りた贅沢な時間を味わえます。



公式サイトなどから写真を引用させていただきました。



〒940-1122 長岡市蓬平町甲 1508-2

TEL: 0258-23-2231

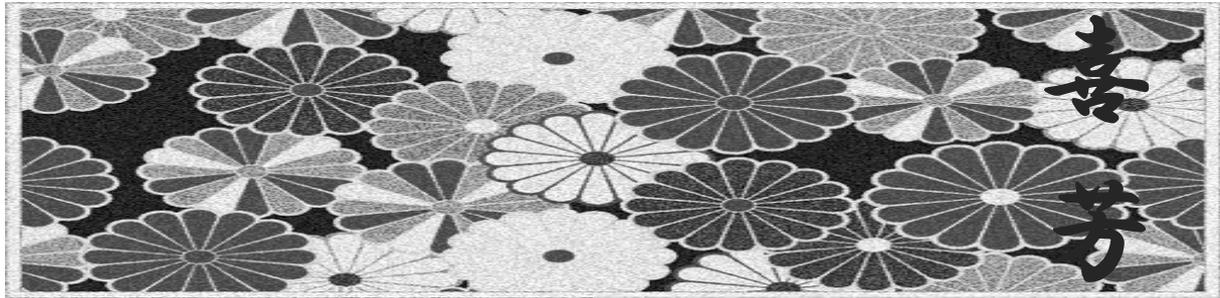
FAX: 0258-23-1186

・立ち寄り湯営業時間 平日 11:00~20:00

<車でのアクセス>

・関越道長岡南越路 IC より車約 18分

JR 長岡駅より車約 25分



お風呂から眺める米処の田園風景。冬の雪景色もまた、いとをかし。浴室に流れるハワイアンミュージックが心地よい、癒しの空間「旬食・ゆ処・宿 喜芳」



内湯は、大浴場と泡風呂の二種類。露天風呂には、大きめな岩露天風呂、階段を上がると檜露天風呂、替わり湯の陶器露天風呂の三種類のお風呂がある。檜露天風呂は館内唯一の源泉かけ流しで、頭上辺りにあるスピーカーからはハワイアンミュージックや心が休まるゆったりとした音楽が流れていて、とてもリラックスできる雰囲気。

庭



<学生のひとこと> (丸山 貴樹)
 中庭や、館内に架かる橋、ラウンジから見える池など「和」を基調とした造りに落ち着きと安らぎを感じることが出来ました。日本らしさを感じつつもリゾート感を感じれる贅沢な施設です。ごろ寝や仮眠スペースもあって、大変快適でした。

【泉質】単純温泉(中性低張性低温泉)/【効能】神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩など/【主な施設】売店、ボディケア室、アカスリコーナー、足湯、ラウンジ、下足ロッカー600個、脱衣ロッカー250個(男女共)、駐車場140台
 *写真引用：公式サイト

・住所/〒940-2314 長岡市上岩井 6964 番地 (みしま体育館となり) TEL: 0258-42-4126
 ・営業時間/10:00~22:00(年中無休)
 ・アクセス/JR 長岡駅より越後交通バス「脇野町行き」関原経由 35分 役場前バス停下車 徒歩 5分。【車の場合】長岡 I.C 下車、国道 352 号線を寺泊・出雲崎方面へ 20分

入浴料金

【平日】大人(中学生以上) 870 円
 17 時以降 600 円
 子供(3 歳未満は無料)490 円
 17 時以降 330 円
 【土・日・祝】大人 980 円
 17 時以降 810 円
 子供 540 円
 17 時以降 490 円

*バスタオル・タオルのセット料金

麻生の湯

【泉質】 ナトリウム-カルシウム塩化物泉
 【湯温】 40℃
 【大人料金】 800円 (タオルセット付き)
 *17:00~夜間料金 670円 (タオルセット付き)

長岡駅や長岡大学からのアクセス良好!



(学生の体験レポート)

温泉は茶色がかった色で、私が昔からイメージしていた「これぞ温泉!」という感じがしました。塩分が強い泉質のためか、とても温まります。

ヒアリングで、あまり宣伝をしていないと伺い少し意外でした。長岡大学からも近く、長岡駅からのシャトルバスもあるし、何よりもアクセスが良いので、もっと認知度が上がれば利用者も増加するのではないかと思います。

お食事処のメニューは豊富で、絶品のからあげと珍しいスノーアイスが是非おすすめです!

(井口美咲)

24時まで営業が嬉しい!
 家族でもお友達でも、もちろん1人でも!
 幅広い方お客様が利用しています。

<こんなサービスもあります!>

- ボンバージュ (40, 20分コース)
 ⇒ふくらはぎをオイルで
 揉みほぐす新感覚マッサージ
 - フットケア (40分、20分コース)
 - ボディケア (80, 60, 40, 20分コース)
 - アカスリ (30分) など
- コースの組み合わせもOK!

〒940-0806
 長岡市麻生田町南谷 2063 番地
 TEL : 0258-31-9300
 FAX : 0258-44-7220
 <営業時間> 9:30~24:00
 <定休日> 不定休(年5回程度休み)



(浴室の写真引用)

麻生の湯公式HP

<http://www.asouno-yu.co.jp/>



飲み放題プランやお得な宴会プランもあります!
 食事のメニューも洋食や麺類、井ものからデザートまで取り揃えています。
 美味しく楽しいひとときをぜひ麻生の湯で!

鮮やかな色で使えば目立つこと間違いなし!?



現在(2015年11月)の
 オレンジタオルは10色目!



源泉かけ流し、泡付きが良いです

【泉質】	アルカリ性単純温泉
【泉温】	45.6℃
【大人料金】	550円
【営業日】	10時~21時
【定休日】	月曜日(祝日の場合は翌日) 8月13日、12月31日、1月1日

＜学生の体験レポート＞

内湯は湯温が異なる2つの浴槽があり、その日の気分や体調に合わせて入れるところが嬉しかったです。私が行ったときは地元の中高年の方々が多く見受けられました。ここで出会って温泉仲間になる方も多いようです。

浴室は黒や茶色系でシックな落ち着いた色合いです。露天風呂がお庭のようなデザインで日本の温泉を象徴している感じ。外国からの観光客にも受けが良いのではないかと思います。(井口 美咲)

中越地震からの復興
 リニューアル10周年

泉質の良さが

クチコミで広まった名湯



〒940-0802 長岡市桂町 1527
 Tel:0258-44-8480
 【アクセス】関越道長岡IC、
 または長岡駅より車で約20分

(写真引用) 立ち寄り温泉ミシュラン
http://www.asahi-net.or.jp/~ue3t-cl/spa/nagaoka_katura/nagaoka_katura.htm

古代海水に浸かり日本海を一望し、心も体も癒されて…



寺泊のシーサイドライン沿いにたたずむ、地下約 1,100 メートルから湧き出る「古代海水」を含んだ温泉である。

塩分が多く含まれているので、湯冷めしにくく、身体の芯からポカポカ温まる。2 タイプの大浴室「新風」と「楽波」は、毎日男女入れ替わり制である。

太古の湯

入浴料金

- ・ 大人(中学生以上) …… 700 円
- ・ 小人(3 歳未満無料) …… 400 円
- 【18:00~夜得料金】**
- ・ 大人(中学生以上) …… 500 円
- ・ 小人(3 歳未満無料) …… 300 円

住所/〒940-2501 長岡市寺泊野積 107-23
 TEL: 0258-75-5533
 営業時間/10:00~21:00
 定休日/なし(設備点検のため臨時休館有り)
 アクセス/中之島見附 IC より車で約 40 分、

泉質

ナトリウム・カルシウムー塩化物強温泉

温度 41~42℃

主な施設

休憩室、食堂、個室(要予約)

【3 時間 2,000 円、延長 1 時間 700 円】

適応症

切り傷、火傷、慢性皮膚病、虚弱など

日本海を一望できる大パノラマ



学生からのひとこと

全体的に館内の段差が少なくお年寄りや、足の不自由な方も比較的使いやすい造りとなっている。浴室内のタイルは滑りにくくなっていて、手すりや椅子などが設置されている。(丸山 貴樹)

健康促進!

アクアール長岡

<施設の概要>

温泉施設にトレーニング施設が付随した健康増進施設です。健康に対する意識の高い若者から高齢者までさまざまな人たちが訪れているようです。プールやマシンジム、リラクゼーションや会議施設などがあります。



住所 〒940-2147 長岡市新陽2丁目5-1
 (国営越後丘陵公園のとなり)
TEL : 0258-47-5656 **FAX** : 0258-47-2051
料金 ○温泉コース(サウナ、温泉) 760円
 フルコース(温泉、マシンジム、プール) 1,580円
泉質 本鉱水は温泉法第2条に規定する「メタケイ酸」の項により温泉に該当する。
湯温 (源泉) 22.4℃ (使用位置) 40.0℃
営業時間 10~21時(温泉は21時30分)
定休日 毎月第2、4月曜日(祝日の場合は翌日)
宿泊料金 (大人1泊2食付) 9,000~15,500円

各種フランの例

- ・四季の和食フラン
- ・特選ふく会席フラン
- ・卓盛り円卓フラン
- ・レディースフラン
- ・越後会席フラン
 などなど



<学生からのひとこと> **釣巻貴弥**
 もし大学の近くにこの施設があったならば、間違いなく通いつめているはず。スポーツジムと温泉施設が一緒になっているのは、とても便利で嬉しいです!(自分の家の近くの体育館がそうだったらいいのになぁ…。)
 今度は是非フルコースで体験したいものです。
 また、宿泊施設としても他のホテルに引けをとりません。各種様々なフランやお得な宿泊サービスなど至れり尽くせりであります。

*写真引用は公式サイトから

はいげ 灰下の湯 東栄館

<施設の紹介>

☆長岡と柏崎の間にある隠れた温泉宿です。水害により大きな被害を受けて、しばらく休業していましたが、平成14年に新築をして営業が再開されました。お湯は茶色がかかった少し特徴的な色です。肌がすべすべした感じや湯上がりのほかほか感も持続するといえます。昔ながらの温泉旅館といった風情ですが、日帰り入浴はワンコイン(500円!)で入れるというのも嬉しい限りです。



灰下の湯、ここがポイント!

- ・肌がすべすべになる
- ・お湯の温度を自由に調整できる
- ・優れた保温性がある

学生からのひとこと(釣巻 貴弥)

何だか両親の実家に行った時のような、どこか懐かしいような、とても落ち着きゆったりとできる施設です。受付でも親切な対応をしていただきました。国道から近い割に、場所が少しわかりにくいので、本当にちょっと隠れた秘湯といった感じです。

露天風呂はなく内湯のみですが、浴室の窓から見える風景にも癒されます。日頃の疲れが取れる是非オススメの秘湯です。

入浴料金 500円
 営業時間 10時~17時
 泉質 低調性アルカリ性冷鉱泉
 湯温 42℃

〒940-2151
 長岡市大積灰下町 1455
 TEL 0258-47-0596
 長岡ICより車で約20分。国道8号線沿い大積橋付近に看板表示あり。

*写真は「新潟県内日帰り温泉おすすめ情報」より引用させていただきました。

しお りそう 志保の里荘



＜施設の紹介＞

正式には「長岡市志保の里荘」の名称で、健康福祉センターを兼ねた公共施設です。温泉は大浴場と露天風呂のみとシンプルな造りで、お湯の色が黄褐色なのが特徴的です。2階には大きな休憩所があって、温泉に浸かった後はここでのんびりできます。屋内ゲートボール場も隣接されているようで高齢者のお楽しみ施設といった印象を受けました。



シアなポイント、露天風呂！

露天風呂に入れる期間が夏期間の7月から9月の3か月間となっています。道路沿いからの田園風景がゆったりと一望できます。是非この3か月間限定の露天風呂もどうぞ！

黄褐色のお湯でした。

学生からの一言（釣巻 貴弥）

入浴料が500円とワンコインで入れる上に、17時以降は300円と安価なのがとても魅力的です。もし自分のアパートの近くにあったなら結構な頻度で行っていると思います。

ロビーや浴室など館内も明るい雰囲気でした。

大学からだと施設まで少し距離があるので、そう頻繁には行けないのですが、また露天風呂に入れる時期に行きたいものです。

入浴料金 500円（17時以降 300円）

*長岡市内の70歳以上の人は300円

泉質 ナトリウム-塩化物冷鉱泉

湯温 41℃前後

効能 神経痛・筋肉痛・冷え症・やけどなど

営業時間 3月～12月 9時～19時

（冬季）1月～2月 9時～17時

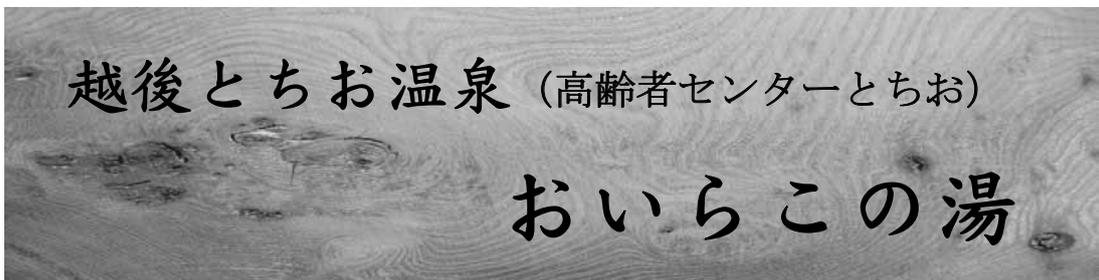
定休日 毎週月曜日（但し、祝日は営業）

12月31日～1月2日

〒940-2403 長岡市与板町本与板 2380番地 1

TEL 0258-72-4649 FAX 0258-72-4712

*中之島見附ICより車で約15分



越後とちお温泉（高齢者センターとちお）

おいらこの湯

営業時間

金・土曜日以外：午前 11 時～午後 8 時（入浴：正午～午後 7 時）
 金・土曜日：午前 11 時～午後 9 時（入浴：正午～午後 8 時）

休館日

毎週木曜日（老人の日（9月15日）に当たるときは、その翌日）
 年末年始（12月28日～1月4日）

【泉質】

ナトリウム－塩化物温泉

【源泉の温度】 53.9℃

*源泉を 100%利用

【適応症】

きりきず、やけど、慢性皮膚病、慢性婦人病など

＜入浴料金＞

一般・・・400円
 高校生・・・350円
 中学生、小学生(12歳以上)・・・250円
 小学生(12歳未満)・・・200円
 高齢者(65歳以上)・・・250円
 障害者、介助者・・・250円

＜学生のコメント＞（丸山 貴樹）

2012年に出来たばかりの新しい施設で、館内は木造建築が特徴的な明るく清潔な雰囲気です。食事処の「おいらこ御膳」も地元の食材を豊富に使ったヘルシーな味わいでした。少し黄色がかった感じのお湯は、肌触りが良いと評判のようです。



主な施設

大浴場、家族風呂、貸部屋、大広間、多目的ホール、足湯、食事処

【住所】〒940-0147 長岡市赤谷 179 番地 2

TEL：0258-89-8590

【アクセス】

・長岡駅大手口 11 番線から、栃尾車庫行きバス（急行）乗車、終点「栃尾車庫」で乗り換え、栃堀又は栗山沢行きバス乗車「いずみ苑前」で下車、徒歩 5 分。

・「道の駅 R290 とちお」から、魚沼市方面へ約 1km。

☆おいらこの湯＝「私の家のお風呂」の意味



長岡かまぶろ温泉旅館

かまぶろ入口



「かまぶろ」ってなに？

「かまぶろ」は、陶磁器用の登り窯風の造りで、床に耐熱レンガを敷き詰め、その上に塩が盛られムシロが敷いてあります。普通のサウナのように、中の温度は一般のサウナに比べて低く、体調が弱っている人でも心臓に負担をかけずに入れるのが特徴です。「普通のサウナは熱くて嫌だ。」という人にオススメします！

「かまぶろ」は 1300 年前に京都で発祥し、当時は医療機関のような役割を果たしていました。神経痛やリウマチなどに効果があると言われています。

<http://www.kamaburo.com/>より一部引用

泉質 単純温泉（低調性弱アルカリ性低温泉）
 温度 41～42℃

*日帰りパックやお得なビジネスプラン、各種の宴会プランなどもあり。

【施設の紹介】

東日本唯一の「かまぶろ」がある温泉施設です。他の施設のサウナとは少し違う「日本式サウナ」を体験できるのは、県内では長岡かまぶろ温泉だけ！施設を訪れる人は「かまぶろ」を目当てに来ている人が多いようです。

まるで洞窟に入るような不思議な感覚になる「かまぶろ」をぜひ体験してみたいかかでしょうか？

☆営業時間 10:00～21:00

☆入館料（入浴・休憩）大人 520 円/
 小学生 270 円/幼児 210 円

学生からのひとこと（釣巻 貴弥）

名物「かまぶろ」に入る前がとても重厚でした。さざの上に乗るといっても初体験でした。内部は温度が低く、普通のサウナよりも入りやすかったです。また座っているよりもリラックスした感じに感じました。但し、小窓がなく、かまぶろの閉鎖空間になるので、閉所が少し苦手な人は長い時間の利用は避けた方がいいかも知れません。

<アクセス>

〒940-1131 長岡市十日町 972-2

TEL 0258-22-2036、FAX 0258-22-2037

☆長岡 IC から車で約 20 分、JP 長岡駅より車で約 40 分。越後交通バス「十日町郵便局前」下車

秋 葉 温 泉

花水 (かすい) ~Casui Spa & TREATMENT~

秋葉区東新津駅の隣に建つ日帰り温泉施設。
 洋風のオシャレな造りでレストランやカフェ、リ
 ラクゼーションサロンも館内に併設されている。

【営業時間】 【休館日】
 10:00~22:00 年中無休

【入浴料金】 *タオル・バスタオル付き
 大人(中学生以上)・・・950円(税込)
 小人(3歳以上~小学生)・550円(税込)



大浴場 花水木 (男性用)



露天風呂 (男性用)



瞑想風呂

【泉質】
 弱アルカリ性・ナトリウム・塩化物温泉
 【泉質別適応症】
 慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病
 【一般適応症】
 神経痛、筋肉痛、痔疾、関節のこわばり、
 冷え性、疲労回復、切り傷、やけど等

ヨーロッパや国内のスパを丹念に視察して造られて
 おり、日常生活では味わえない優雅な空間を楽しめる。
 女性浴場は洋風タイプの造り。男性浴場は天井が高く
 広々と感じる。ライトの光にも趣があって、朝と夜で
 違った雰囲気味わえそう。露天風呂も「和」を基
 調とした造りになっている。全体の優美な洋風の造り
 の中でも、日本的な情緒も感じられるのが嬉しい。

<アクセス>

【電車の場合】
 JR 新津駅からタクシーで約7分
 JR 東新津駅目の前：徒歩約30秒
 【車の場合】<駐車場:150台>
 磐越自動車道 新津 IC から約10分
 新潟駅より国道403号線経由にて約
 30分
 【住所】
 〒956-0833 新潟市秋葉区草水町 1-4-5
 TEL: 0250-24-1212 *写真は公式サイト
<http://www.casui.jp>

【学生からのひとこと】(丸山 貴樹)
 建物の外観だけでなく、館内も優雅で落ち着いた雰
 囲気だ。バリアフリー対応で足腰が弱い方や高齢者
 にも配慮がなされた造りになっている。
 温泉以外にもリラクゼーションなどの施設も充実
 している。日頃の疲れをゆっくり癒してリフレッシュ
 したい方には是非おすすめだ。館内には食事処があ
 って、温泉入浴に食事が付いたお得なセットも魅力的
 である。WEBサイトには月替わりでお得なクーポンも
 あり、それぞれのお客さんのニーズにあった楽しみか
 ができる施設だと思う。

ソルト・スパ潮風

～柏崎の海を望み、

日本海の風を感じながら～

・営業時間

10:00～22:00

(21:00 最終受付)

・住所 〒945-0072

柏崎市北園町 21-17

TEL: 0257-21-6661

【入浴料】

大人 780 円

小人 470 円

(タオルセット付)



柏崎の海岸沿いに建っている特徴的な筒状のような建物がソルト・スパ潮風だ。駐車場は広めで 150 台駐車可能である。多彩なお風呂のほか、お食事処では柏崎のご当地グルメ「鯛茶漬け」を味わえる。

主な施設

休憩室、宴会場、有料貸切個室、食事処、売店、整体、アカスリ、足ツボ、ゲームコーナー



【泉質名】ナトリウム-塩化物強温泉 潮の湯

・全身浴・半身浴・箱むし・塩サウナ・露天風呂

・圧注浴・気泡湯・冷水浴・かぶり湯

風の湯

・全身浴・半身浴・寝湯・塩サウナ・露天風呂

・圧注浴・気泡湯・かぶり湯・全身シャワー

主な適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進

泉質別適応症

きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症

学生からのひとこと (丸山 貴樹)

珍しいことに、館内にゲームコーナーが設けられている。少し暗めなごろ寝が出来るスペースはありがたい。露天風呂の寝湯は潮風の涼しさと塩化物強泉の温かさが良いバランスの気持ち良さを感じられる。食事処もあって幅広い利用のしかたが出来ると思う。

【アクセス：車の場合】

北陸自動車道 柏崎 IC から国道 252 号線経由で 20 分。米山・西山 IC から 20 分。

【アクセス：電車の場合】

JR 信越線 柏崎駅下車、車で 5 分。
 柏崎駅前始発の市街地循環バス「かざぐるま」(柏崎駅前よりソルト・スパ潮風を経由して、柏崎駅に戻る循環バス)も利用できる。

*写真等は公式サイトから引用



いい湯らてい



【泉質】

ナトリウム・カルシウム硫酸塩温泉
 （弱アルカリ性・低張性・高温泉）

【湯温】

40～42℃

【料金】

850 円

八木ヶ鼻を一望！



数奇の湯 露天風呂
 男性（奇数日）女性（偶数日）



和楽の湯 露天風呂
 男性（偶数日）女性（奇数日）

＜学生の体験レポート＞

長岡市からは少し距離がありますが、温泉に近づくと大きな断崖絶壁のような八木ヶ鼻が姿を現し、圧倒されました。温泉やサウナの種類も豊富で、あれもこれもと試してみました。そして、施設は和風と洋風の食事処があり、気分によってテイストを選べる所はポイントが高いと思いました。館内の広さや休憩所の多さなど、多くの利用者を受け入れることができる点から、宣伝をしてリピーターだけでなく、新規のお客さんを呼び込むことは効果的だと感じました。（井口 美咲）



〒955-0128

新潟県三条市南五百川 16 番地 1

TEL:0256-41-3011

FAX:0256-41-3012

【営業時間】 10 時～22 時

【定休日】 毎月第 3 水曜日

（写真引用）

いい湯らてい公式サイト

<http://www.iiyuratei.com/>



大きな手が
 インパクトあり！
 たなごころの湯！

下から吹き出す泡が
 気持ちいい！
 マグマ風呂！



松之山温泉 ひなの宿ちとせ

ひとことメモ

温泉基準値の約15倍もの成分を含む。源泉が92℃あり、「熱の湯」とも呼ばれている。

【泉質】カルシウム-ナトリウム塩化物泉 【日帰り入浴】700円

(10:30~15:00)

【効能】肌荒れ改善、美肌効果、
 冷え性対策、傷の治癒

【温泉の種類】月見の湯(露天)
 ほんやらの湯(内湯、露天風呂)
 貸切風呂、足湯

日本三大薬湯



1200 万年前の化石海水



<学生の体験レポート>

松之山温泉は、「日本三大薬湯」と呼ばれるだけあり、薬湯の匂いを強く感じました。その分効果も抜群で、県外からの観光客も多いようです。

お料理は、地元食材を多く使い、鯉こくや十日町の棚田で採れた棚田米を使ったお粥蒸しなどが印象的でした。

宿泊だけでなく、入浴のみでも、お食事とお部屋付きの日帰り入浴も出来るため、気軽に歴史ある薬湯を味わうことが出来ます。

私が行った時は5月でしたが、冬でも月見の湯は入浴出来るので、雪景色を見ながらの入浴もぜひおすすめです。(井口 美咲)

〒942-1432
 十日町市松之山湯本 49-1
 (電話) 025-596-2525
 (FAX) 025-596-2117
 ☆ほくほく線松代駅より
 定時送迎バスあり。
 関越道・塩沢石打ICより
 353号線を車で約50分



(写真引用)

じゃらんネット

<http://www.jalan.net/yad335124/>

景虎もビックリな美人の湯！

かわら亭

施設紹介

かわら亭は別名「美人の湯」と呼ばれ、豊富に含まれるメタケイ酸が肌をスベスベにする効果をもたらしているようです。新井スマート IC や JR 新井駅から近く、交通アクセスも良好です。新潟県内だけでなく県外からも多くの地域の人々が訪れているようです。ぜひ一度足を延ばしてみませんか？



もう1つの名前「景虎の湯」

かわら亭は「美人の湯」という名前がありますが、ほかにも「景虎の湯」という名前もあるようです。上杉景虎にゆかりのある鯨ヶ尾城に近いので、そう呼ばれているようです。上杉景虎が美男子だったと言われているのは、あるいはこの温泉のおかげなのでしょう。

学生からのひとこと（釣巻貴弥）

とにかく館内が綺麗・清潔なのが印象的でした。明るい木造の造りが、癒しの空間をさらにパワーアップしている感じがしました。

浴場内は温泉特有の匂いというより、木の香りが立ち込めていて、非常に落ち着けるいい匂いがしました。少し残念だったのは肌のツルツル感が、自分ではイマイチわからなかったことです。宿泊もできるそうなので、今度また行ってゆっくり体験してみたいです。

住所 〒944-0096 妙高市大字神宮寺 31-3
TEL 0255-72-7307、FAX 0255-72-7304
料金 800 円
泉質 泉質名なし（メタケイ酸の項による温泉）
湯温 40～42℃
営業時間 9時30分～21時30分（21時最終受付）
定休日 年中無休

参考

<http://www.kawaratei.net/> より一部引用



竜ヶ窪温泉 竜神の館

<施設紹介>

竜ヶ窪の竜神伝説をもとに作られた施設です。竜をイメージした細長い岩風呂の『竜神の湯』と鎮守の森をイメージした木風呂の『縄文の湯』があります。内湯と露天が繋がっているため、湯船から出ずに行き来ができるのが強みです。



竜ヶ窪



露天風呂 『竜神の湯』

<料金>

大人 600円 小学生 300円

<営業時間>

4月～11月 10:00～21:00

12月～3月 11:00～18:00

<休館日>毎週火曜日

<泉質>

ナトリウム-塩化物泉

<湯温> 59.1℃(源泉)

<主な効能>

神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・運動麻痺・関節のこわばり・痔疾・慢性消化器病・アトピー性皮膚炎・慢性皮膚炎・慢性婦人病・うちみ・くじき・きり傷・やけど・病後回復期・虚弱児童・冷え性・疲労回復・健康増進など



露天風呂 『縄文の湯』

<学生からのひとこと> (中沢 裕太)

夏に行ったので、竜ヶ窪やひまわり畑からの観光客が多く見受けられました。露天風呂が広くて静かだったので、ゆっくりと和んだ雰囲気です。リフレッシュできました。

*写真等は公式サイトから引用しました。

<アクセス>

〒949-8204

中魚沼郡津南町大字谷内 7031 番地

TEL 025-765-5888

FAX 025-765-5877

越後川口 IC より車で約 50 分、JR 津南駅より車で約 15 分。



【湯温】 40℃
【効能】 神経痛・腰痛・肩こり・
 リウマチ・荒れ症・ひび・しもやけ
【目帰り入浴】 500 円
【宿泊 2食付き】 7,400 円～

山古志の最も奥の高い
 場所にある入浴施設

山古志の
 水を使用

麦飯石を使用



（学生の体験レポート）
 車でかなり長い距離で続く
 上り下りのある道を進んで行
 きました。山古志地域の方々が
 大自然の中、自給自足で生活し
 ている様子が伺えました。
 お湯は温泉ではありません
 が、入った時に石が入っている
 ことを疑問に思い、貼り紙を見
 たら麦飯石という石でした。水
 やお肌を綺麗にしてくれるそ
 うです。ぬるめのお湯でゆっく
 り入れました。山古志の自然に
 癒され、地域の方々との交流も
 楽しめるかもしれません。
 （井口 美咲）

～大自然に囲まれた憩いの場～



大小の宴会も出来ます！
 山古志バーガーもおすすめ

〒947-0201
 新潟県長岡市山古志種芋原 4526
 (電話) 0258-59-3620
 (FAX) 0258-59-3621
 (営業時間) 9:30～16:30
 (定休日) 毎週火曜日・年末年始

＜車でのアクセス＞
 ●関越自動車道練馬 IC から約 3 時間
 ●北陸自動車道新潟中央 IC から 1 時間
 10 分、上越 IC から 1 時間 20 分
 ●長岡 IC または長岡南越路スマート IC
 から約 35 分



＜山古志アルパカ牧場＞
 周辺にはこんなスポットも♪

(写真引用) 山古志 四季の里あまやち会館 (公式HP)
http://amayachi.com/?page_id=11

おぐに森林公園 養楽館 延命の湯



＜施設の紹介＞

『養楽館 延命の湯』は、おぐに森林公園にある日帰りの入浴施設です。準天然のトロン温泉で、ゆっくりつかったあと身体の温かさが持続するのが特徴です。温泉の他に売店や食堂などの設備も整っていて、地域の交流の場となっています。



＜営業時間＞

10:00～21:00(4月～11月)

10:00～20:00(12月～3月)

＜休館日＞

毎週水曜日と年末年始

(水曜祝日の場合は翌日の木曜日)

〒949-5333 新潟県長岡市小国町小国沢 2531

TEL:0258-95-3161

＜料金＞

中学生以上 400円

小学生、65歳以上の方 200円

＜トロン温泉とは？＞ 医薬部外品「トロン浴素」は天然の鉱石だけでつくられており、浴槽内の壁面等に専用ケースに収納し取り付けて使用するものです。一般には、腰痛・神経痛・肩こり・うちみ・くじき・痒疾・水虫・冷え性・しもやけ・疲労回復などに効果があると言われています。



＜学生のひとこと＞(中沢 裕太)

養楽館はまちの駅でもあり、私が行ったときはちょうどまちの駅シールラリーをやっていました。受付の方の対応はとても親切で、名物のぎんなんアイスや和紙などのお店がある場所を詳しく教えていただきました。

トロン温泉は初めてでした。浴室の広い窓から夕焼けを眺めながら、ゆっくりと入ることができました。休息しながら入浴できるつくりになっていると思います。

*写真は、おぐに森林公園のサイトから引用しました。

エコトピア寿 (ことぶき)

<施設の紹介>

「エコトピア寿」は環境衛生センターの余熱を利用した、まさに“エコ”を体現した、環境にやさしい施設です。1階には温水の遊泳プールやジャグジープールなどがあります。2階には男女それぞれの浴室に、露天風呂、低温式サウナがあり、大広間やロビー、休憩室なども完備されています。

リーズナブルな価格で、のんびりゆったりと健康づくりができる施設として、市民のみなさんにも広く親しまれています。

<料金>

大人	500 円
高校生	350 円
中学生以下	250 円
高齢者・障害者介助者	350 円



〒940-0015
 長岡市寿 3 丁目 6 番 30 号
 TEL : 0258-24-9322
 開館時間 : 午前 10 時～午後 8 時
 休館日 : 毎週月曜日
 (月曜日が休日の場合はその翌日)
 年末年始 (12 月 31 日～1 月 2 日)
 *写真は公式サイトから引用させていただきました。

<学生からのひとこと> (中沢 裕太)
 余熱が有効に利用され、入浴やプールが楽しめるのはいいものです。みんなが気軽に行ける便利な施設だと思います。

<施設の紹介>

『ゆらいや』は風呂以外にも食事処や散髪、ボディケアなどの施設を備えたスーパー銭湯です。人工温泉装置を導入しているので、さまざまな湯の色や香り、成分を調整することができるのが魅力です。

〒940-0861

長岡市川崎町 1497-4

TEL : 0258-31-5526

FAX : 0258-31-5586



<入浴料金>

大人 650円

子供 350円

65歳以上 550円

*会員特典あり!

(入会金100円で、
 年会費不要。各種の割引料金の適用。)

越後長岡

スーパー銭湯

ゆらいや

<営業時間>

平日 10:00~24:30

土日祝 9:00~24:30

(最終受付は24:00)

*年に数回、メンテナンスのために臨時休業あり。



*写真引用：ゆらいや公式サイトから

<学生のコメント>

とにかくお風呂のバリエーションが豊富でした。一日中いても飽きることなくゆったりと過ごせそうです。日替わりで人気の替わり湯は行くたびに「こんなお湯があったのか!」と新鮮な気持ちになります。長岡大学からも近いので、アンケートで学生の利用が最も多かったというのも納得できます。ひとりでも友人とでも、気軽に行けるのがゆらいやの最大の魅力です。(中沢 裕太)

謝辞

地域活性化アドバイザーとしてご指導・ご鞭撻いただきました寺宝温泉 青柳良一様、えちご川口温泉 小林説人様、ヒアリングにご協力いただいた金内智子様、小林和彦様、奥山錦一様、丸山翔平様に心から感謝申し上げます。

各施設でお世話になったみなさまにも、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

大学内では、学生アンケートの際に協力していただいた原田誠司先生、事務手続きで大変お世話になった恩田麻未様、報告書が書けず心底悩んでいた時に温かく励ましてくれた山田満智子様、その他にもお世話になった皆様にも心から御礼申し上げます。

参考文献

- ・「新潟ほっと日帰り湯」(2015) Komachi WEEK!
- ・「新潟日帰り温泉パラダイス 2015-2016 年版」新潟日報社
- ・「新潟温泉大図鑑 2014-2015 年版」Newsline
- ・「温泉の科学」(2013) 佐々木信行、サイエンスアイ新書

その他、各施設のパフレット、ホームページなども参考にさせていただきました。

平成27年度 学生による地域活性化プログラム
山川智子ゼミナール活動報告書

【発行日】 平成28年 3月31日
【発行人】 村山 光博
【発行】 長岡大学 地域活性化プログラム推進室
〒940-0828 新潟県長岡市御山町80-8
T E L 0258-39-1600 (代)
F A X 0258-39-9566
<http://www.nagaokauniv.ac.jp/>